日本道教学会開催に伴うご案内

2022 年、日本道教学会（11 月 12 日、山梨県立大学）開催にあたり、中国関係書籍全点を【学会会場販売価格】20%引にてお届けいたします。ＦＡＸ注文書・メールにてお申し込み下さい。公費予算（研究費・科研費）でのお申し込みも承ります。

◆お届けは、受注後 2～5 日以内（時間指定可能）。購入総額 1 万円以上は送料・振込手数料は小社負担。未満は、送料 370 円～700 円と振込手数料が必要となります。

その他、ご案内リストに掲載されていない書籍につきましても学会会場販売価格にてお届け致します。（一部取扱図書は 10%引となります。）

お申込み期限：2022 年 11 月 15 日

本冊子の前半には 2022 年刊行の新刊書籍を、後半には小社刊行の中国関係全点リストを収録しました。ご確認の上、ご希望書籍をお揃えいただければ幸いです。

汲古書院

〒101-0065　東京都千代田区西神田 2-4-3 髙岡ビル 4F

TEL：03-3265-9764　FAX：03-3222-1845　E-mail：kyuko@fancy.ocn.ne.jp

2022年秋　日本道教学会特別販売／ＦＡＸ注文書

ＦＡＸ番号:03－3222－1845　汲古書院営業部行

書　　名	学会価格	注文部数

お名前

〒　　ＴＥＬ

ご住所（お届け先）

購入区分：私費／公費（書類の宛名・必要通数をご記入下さい。）　　日付：要・不要

書類の宛名：　　見積書　通・納品書　通・請求書　通

石川忠久先生星寿記念論文集

菊を採る東籬の下

石川忠久先生星寿記念論文集刊行会 編
▼A5判上製・716頁・定価18,700円 ISBN978-4-7629-6695-8 C3000 2021年10月刊

【序文より】（抜粋）

石川忠久先生が、星寿を迎えられた。星寿とは、先生ご趣味の囲碁に使われる碁盤の星の数にちなむ、九十歳のお祝いである。このめでたい年に、学恩を受けた者たちが諸方から駆け付けて、本書が成った。

【内容目次】

序文（市川桃子）　石川忠久先生　略年譜／石川忠久先生　主要著書

中国の文学と文化

『毛詩』に見える「萬舞」について
——邶風・簡兮篇を中心に——　……　藪　敏裕
陶淵明における柳の意味について　……　増野弘幸
陶淵明、謝霊運から謝朓への詩風と詩語の継承　……　佐藤正光
斉梁艶詩における「中人」について　……　大村和人
御製詩とその「泰和…応詔」詩にみる政治に対する
詩の機能性について　……　矢嶋美都子
月の「徘徊」が意味するもの
——李白「月下独酌」を中心として——　……　遠藤星希
李白「白髪三千丈」の意味と数字の用法　……　市川桃子
唐代詩歌に見える故郷の月——「漢月」を中心に——　高芝麻子
薛濤「九日遇雨」詩と重陽の詩における正と変　……　詹　満江
唐代小説「辛察」と「煎餅招鬼」　……　澤崎久和
王安石詠金陵詩　……　和田英信
北宋太守の文学——蘇軾の密・徐知州時代における詩詞と文——　……　内山精也
文徴明の「落花詩」——典故による新たな詩的空間——　……　鷲野正明
阮元の詩に表された「茶」について　……　直井文子
『桐橋倚棹録』と近代蘇州の文人たち——王伯祥・顧頡剛・葉聖陶・兪平伯——　……　大木　康
楚の初期王諡について　……　三上英司
馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲編——「祭(三)」「宜忌」「諸日」「祭(二)」綴合校釋——　名和敏光
空飛ぶ人面魚たち——晋・前涼王朝の『山海経』受容と西北認識——　……　松浦史子

日本の文学と文化

尺五堂釈菜式における「聴講詩経」詩十七首　……　日原　傳
山中静逸の収集に係る小野湖山・谷鐵臣「まくり」詩稿について　……　池澤一郎
朝鮮通信使関連刊行物の朝鮮人言葉を通じてみた朝鮮の表象　……　石川泰成
野田の観桃をめぐる詩文
——佐藤元萇・大沼枕山・宮本鴨北・渋沢栄一等と造醤家茂木氏——　……　町　泉寿郎
大沼枕山による齋藤竹堂の詩の改変に就いて
——宮城県図書館所蔵『竹堂詩鈔』枕山自筆加評本の紹介——　……　堀口育男
揚州における吉嗣拝山　……　長尾直茂
『日本閨媛吟藻』の研究　……　大戸温子
鄭孝胥執務室から見た「満洲」——宇佐美勝夫国務顧問の役割——　……　菊地隆雄
「岳堂体」初探——石川忠久の漢詩の作風分析——　……　早川太基
江戸期のことば(童子)の教育(1)——『新童子往来万世宝鑑』からみる——　……　安居總子
簡野道明編の女子漢文教科書の日本素材　……　加藤国安
漢詩素材としての『日本外史』——教育者・西川文仲による『日本外史楽府』について——有木大輔
跋（詹　満江）　編集後記／執筆者一覧／英文目次

◎中国における「史學」の確立と、儒教からの自立、成立、展開の過程を追う

「古典中國」における史學と儒教

早稲田大学教授 渡邉義浩 著

▼A5判上製・756頁・定価13,200円 ISBN978-4-7629-6703-0 C3022 2022年4月刊

【序章より】

日本における中国史学史は、西欧近代史学への近さを基準として、そこへの到達度を計るものであった。劉知幾の『史通』や章学誠の『文史通義』への高い評価は、それに一因があろう。しかし、前近代中国における「史」部の関心事は、国家の正統化に置かれており、両者は明確に異なる。とりわけ、「史」部が確立した「古典中国」における儒教の影響力は圧倒的であり、史学のあり方は儒教との関係性の中でしか、論ずることはできない。「古典中国」における史学と儒教との関係を明らかにすることが、中国史学史の課題であろう。

なお、「古典中国」は、「儒教国家」の国制として後漢の章帝期に白虎観会議により定められた中国の古典的国制と、それを正統化する儒教の経義により構成される。そして、中国史に内在する「古典中国」の主体的把握に基づく時代区分を設定すると、中国史は、「原中国」（先秦。「古典中国」成立以前）、「古典中国」（秦から唐。「古典中国」の成立）、「近世中国」（宋から清。「古典中国」の展開）、「近代中国」（中華民国以降。「古典中国」からの脱却）の四期に時代区分することができる。

本書は、これに基づき、「古典中国」における史学と儒教の関係を考察する。すなわち、本書は、儒教経典、具体的には『春秋』と『尚書』を継承するために著された『太史公書（史記）』と『漢書』を嚆矢とする中国の史学が、いかにして経学とは異なる独自の方法論を生み出し、やがて経学に代わって国家の正統化を担うに至るのかを論ずるものである。

【内容目次】

序　章　中国史学史の課題
第一章　『史記』における『春秋』の継承
第二章　『漢書』における『尚書』の継承
第三章　『古史考』と『帝王世紀』――儒教に即した上古史と生成論――
第四章　『三国志』と正統の所在
第五章　『続漢書』と「古典中国」
第六章　「春秋左氏伝序」と「史」の宣揚
第七章　葛洪の歴史認識と政策の提言
第八章　干宝の『晋紀』と「左伝体」
第九章　常璩の『華陽国志』にみえる一統への希求
第十章　東晋における史論の尊重と袁宏の『後漢紀』
第十一章　習鑿歯の『漢晋春秋』における「正」と「統」
第十二章　「史」の自立
第十三章　「史」における「記言の体」――裴松之『三国志』注の懊悩――
第十四章　「史」の文学性――范曄の『後漢書』――
第十五章　『文心雕龍』の史学論
第十六章　沈約『宋書』と南朝意識
第十七章　北魏をめぐる史書の展開
第十八章　班孟堅の忠臣――顔師古『漢書』注にみる「史」の「経」への回帰――
第十九章　『晋書』の御撰と正史の成立
第二十章　『隋書』経籍志の史学論
第二十一章　李延寿「南北史」の「大一統」
第二十二章　『後漢書』李賢注における引證注の導入
第二十三章　『史通』の経書批判と『論衡』
第二十四章　『史通』の実践性と『文心雕龍』
第二十五章　劉知幾の史学思想
第二十六章　『史記』三家注の特徴について
終　章　中国史学の展開と儒教
文献表／あとがき／人名索引

◎広大な範囲の中国文化へ多彩な分野からアプローチする 18 本の論文を収録

中国文化の統一性と多様性

早稲田大学教授 渡邉義浩 編

▼A5判上製・552頁・定価13,200円 ISBN978-4-7629-6713-9 C3010　2022年4月刊

【あとがきより】

本論集は、東方学会が中国社会科学院古代史研究所と結んだ交流協定に基づき開催している中国文化研究国際論壇の成果の一部である。本論壇は、二〇二一年五月一五日・一六日に、早稲田大学を拠点とするオンラインで開催された。全体のテーマは、「中国文化の統一性と多様性（中国文化的統一性与多様性）」である。

地域的にも時間的にも、広大な範囲を包摂する中国文化は、統一性と多様性を両有する。たとえば、中国古代において長らく国家の支配理念であった儒教は、『春秋公羊伝』に基づく「大一統」を主張し、その歴史は、正史により収斂される。統一への方向性である。その一方で、中国社会には政治的にも民族的にも文化的にも多様性が満ちあふれておる。また、朝鮮半島や日本などの中国の周縁部に目を向けた場合、中国文化を「古典」と尊重する風潮が存在する一方で、民族・地域ごとの多様な文化や歴史が展開された。

本シンポジウムは、そうした「中国文化の統一性と多様性」に関する多くの報告とそれに対する討論が収録されている。本書に収録し得なかった内容については、英文要旨を参照されたい。

【内容目次】

一、元代呉澄による『禮記』王制篇の改変およびその意義の分析　王啓発／及川伶央（訳）
二、「文化中国」の再検討　小島毅
三、中国史学の展開と儒教　渡邉義浩
四、フランス革命直前における中国の聖王と暴君情報――張居正『帝鑑図説』仏訳に関して――　井川義次
五、道家の「無為によって治める」政治立場と「戦わずに勝つ」戦争観　趙現海／伊藤涼（訳）
六、「雅言」と「斟酌」――春秋期の『詩』の機能・意から義へ―― 牧角悦子
七、日本鴻臚館の「漢詩外交」より見る東アジアにおける中国文化の伝播　趙瑩波／佐藤大朗（訳）
八、日本における劉向『列女傳』の受容――松本萬年『標註劉向列女傳』を中心に――　仙石知子
九、司馬遷の「行国」史観とその後世への影響　楊富学・樊麗沙／森田大智（訳）
一〇、中国文化の統一性と多様性――行政都市網の変遷を手がかりに―― 妹尾達彦
一一、王朝は「帝国」か――寰宇図と職貢図を中心として――　成一農／鈴木雄大（訳）
一二、王弼再考――否定神学を超えて――　中島隆博
一三、殷人はなぜ神を尊ぶのか――夏と殷の生産様式の違いに基づく検証――　桓占偉／梁嘉浩（訳）
一四、全眞道の教学法における言教と身教　宋学立／冨田絵美（訳）
一五、日本伝存資料を通してみる唐代典籍文化の統一性と多様性　河野貴美子
一六、八旗圏地制度の影響の広がり――清初撥補地考実――　邱源媛／野澤亮（訳）
一七、中国古代禿頭攷　柿沼陽平
一八、「洒掃應對は便ち是れ形而上の事」――朱子の小学と大学の関係に対する解釈――　牟堅／永田小絵（訳）
総合討論／あとがき／英文要旨

◎前著『敦煌文書にみる学校教育』に続く敦煌学と説文の探求

敦煌文書にみる民間文藝

お茶の水女子大学名誉教授　伊藤美重子 著

▼A5判上製・330頁・定価11,000円 ISBN978-4-7629-6705-4 C3098　2021年12月刊

【あとがきより】（抜粋）

私は昨年 23 年間勤務したお茶の水女子大学を定年退職しました。これを機にこれまで書いた論文を、一冊の本にまとめたいと思いました。2008 年 12 月に同じく汲古書院より刊行した前書『敦煌文書にみる学校教育』は、お茶の水女子大学に提出した博士論文によるもので、敦煌文献を資料として、学郎題記を手掛かりに唐末五代期の敦煌地区の学校と学生の様相および教材としての教訓書について記述しました。本書は前書には収めていない民間での習俗や文学、そして私のもう一つの研究分野である『説文解字』に関連した既発表の論文をまとめたものです。

敦煌文書を資料にしての習俗や文学に関する研究は、中国および台湾では盛んであり、『敦煌学』『敦煌研究』『敦煌学輯刊』など、敦煌研究専門の雑誌も各種刊行されて研究も格段に進んでいます。本書に収めた論文は 1985 年から 2017 年までのもので、執筆時期の古い論文は、現在の敦煌研究において、すでに既知の情報も多く、本来ならば最新の情報を加えるべきものなのかもしれませんが、現在の自分には手に余るものです。この分野において日本語で書かれた論文は数少なく、もしこの分野に関心をもつ読者がいるならば、いささかの手引きにでもなればと思い、ここに出版に至った次第です。

【内容目次】

第一部　民間習俗

第一章　敦煌本『下女夫詞』について
第二章　敦煌資料にみえる『児郎偉』をめぐって―駆儺文・障車詞・上梁文―
第三章　敦煌の駆儺文について
第四章　敦煌の婚礼資料について
第五章　敦煌の吉凶書儀にみる凶儀について

第二部　民間文藝

第一章　敦煌写本『伍子胥変文』について
第二章　敦煌写本『王陵変文』について
第三章　敦煌写本『醜女縁起』について―P. 3048 の特質―
第四章　敦煌写本『醜女縁起』の依拠する経典の再検討

第三部　切韻・説文・類書

第一章　長孫訥言箋注本『切韻』残巻初探―切韻の中の説文―
第二章　長孫訥言箋注本『切韻』の説文引用例について―S. 2055、P. 3693 を例として―
第三章　『説文解字』佚文研究序説
第四章　類書に引用された説文について―『藝文類聚』を中心に―
第五章　類書について
第六章　敦煌写本『雑抄』に関する諸問題

****

敦煌文書にみる学校教育

伊藤美重子 著

▼A5 判上製・380 頁・定価 9,900 円 ISBN978-4-7629-2966-3-9 C3098 2018 年 7 月刊

敦煌文書の中にみえる「学郎題記」と「童蒙教訓書」を主たる資料として、唐末五代の敦煌地区における学校および規範教育の様相を解明する。

第 1 部、敦煌の学校と学生―「学郎題記」をめぐって
第 2 部、敦煌の規範教育―童蒙教訓書の世界

◎唐代女性詩人薛濤の詩九十三首を訳注(現代語訳)と論考・索引を付して提供する

浣花渓の女校書 薛濤の詩を読む

かんかけい おんなこうしょ　せっとう

杏林大学客員教授　詹　満江　編

▼A5判上製・528頁・定価14,300円 ISBN978-4-7629-6710-8 C3098　2022年3月刊

【序より】(抜粋)

本書『浣花渓の女校書　薛濤の詩を読む』は、唐代の中唐期、女性詩人として天下にその名を馳せた薛濤の現存する詩作品のすべてについて、わが国の薛濤研究会で行われた会読の記録である。

ここで「わが国」と特にことわった理由は、まったく同じ名称の研究会が、薛濤ゆかりの地である中国・四川省成都に存在しているからである。成都の薛濤研究会が創設されたのが平成二年（一九九〇）の春、それに後れること二十六年、日本の薛濤研究会の立ち上げは平成二十八年（二〇一六）十一月のことであった。この二つの研究会は会名だけは同じものの、活動の規模や内容は大違いで、片や国際的なシンポジウム（研討会）を主催するほどの歴とした学会であるのに対して、日本側のそれは今のところまだ小さな読詩会に過ぎない。しかしながら形は小さくとも、薛濤詩研究に注ぐ情熱は決して小さくなく、むしろこの日中の二つの研究会は、唐詩、ひいては唐代文学と女性という大きなテーマを共有しているとさえ言えるであろう。(中略)

本薛濤研究会の最も重要な目的は、言うまでもなく、いま本書の訳注篇に収録する総計九十三首の詩作品を確実に読み取ることである。九十三首の内訳は、底本である明萬曆三十七年（一六〇九）洗墨池刻本『薛濤詩』所収の八十三首が底本所録の作品――ただし八三「四友贊」は文に属するもの――であり、残りの十首は底本には収録しないいわゆる集外詩に類するものである。詳細は資料篇の「底本及び薛濤詩を収録する諸本」を参照されたい。

〔本書の特色〕

◎全詩に、原文、訓読、平仄、【押韻】【校勘】【現代語訳】【語釈】を施し、必要に応じ【補説】を付した。
◎底本には、『薛濤詩』(北京圖書館出版社　二〇〇二年　據中國國家圖書館藏明萬曆三十七年洗墨池刻本影印)を用いた。
◎詩の配列は、底本にある八十三首、底本外にある十首の順とし、この詩題順に作品番号を付した。
◎訓読は、送り仮名・振り仮名ともに現代仮名遣いとした。

【主要目次】

序 …… 佐藤　保

訳 注 篇（詹満江・横田むつみ・植松宏之・董子華・姚星煜・趙美子）

訳注篇凡例／五言律詩（一）／五言絶句（二～一四）／六言（一五）／七言絶句（一六～八二）／贅（八三）／〔補遺（底本外）〕七言律詩（八四～八六）／五言律詩（八七）／七言絶句（八八～九二）／七言六句（九三）

資 料 篇

一　底本及び薛濤詩を収録する諸本
　底本（植松宏之・趙美子）／薛濤詩を収録する諸本（趙美子）／底本外の詩について（横田むつみ）
二　薛濤の伝記資料（董子華・詹満江）　三　薛濤研究について（横田むつみ）
四　その他　薛濤に関すること（植松宏之）　五　薛濤年譜（詹満江）
六　薛濤詩収録状況表（横田むつみ）
跋（詹満江）／執筆者一覧／索　引

◎唐という時代に近体詩を詠む女性達の声を聴く！

唐代女性詩人研究序説

――上官昭容、李冶、薛濤、魚玄機と詩作――

お茶の水女子大学基幹研究院研究員　横田むつみ 著

▼A5判上製・236頁・定価8,250円 ISBN978-4-7629-6708-5 C3098　2022年1月刊

【自序より】（抜粋）

古く中国においては『女論語』に「歌詞を縦にする莫れ、他の淫語を恐るればなり」と女性が詩歌に親しむことを禁ずるような教えがあった。また、政治の担い手であった士大夫層が文学の担い手であったことから、例えば前漢の班婕妤のような宮廷の一部の女性と、南朝宋の鮑照の妹の鮑令暉のような文人の妹や娘等を例外として、女性が公然と詩を詠むことはなかった。ところが世界に冠たる大唐帝国と称されるほどに繁栄を極めた唐代になると女性達の活躍が目覚ましくなり、女性詩人も多く輩出した。その唐代における女性詩人とは、初唐から盛唐期までは、前代までと同様に皇后や妃嬪等の宮廷の女性と著名な文人の妹や娘等の名媛と称された女性達であったが、安史の乱を経た中晩唐期には、妓女や女道士の詩人が出現して多くの詩を遺している。本書では、そのなかでも残存詩が比較的多く事跡も明らかな、上官昭容（婉兒）、李冶、薛濤、及び魚玄機の四人の女性詩人の詩と詩作について論述している。

【主要目次】

口　絵／序（佐藤　保）／自序

第一編　唐代女性詩人の詩と文学

第一部　宮女の詩作

第一章　初唐における宮女の詩作――上官昭容と宮廷詩壇――

〔景龍年間の応制詩群と上官昭容の詩／初唐の宮廷詩壇と上官昭容〕

第二部　妓女・女道士の詩作

第一章　女道士詩人・李冶の誕生〔唐代における女道士詩人・李冶の誕生／李冶の詩〕

第二章　営妓詩人・薛濤の詩作――詩にみえる営妓としての薛濤像――

〔剣南西川節度使に対して詠われている詩から／士大夫等に対して詠われている詩から〕

第三章　魚玄機の詩と詩作――詩作の模倣から詩作への葛藤へ――

〔詩作の模倣／詩作への取り組みと葛藤〕

第三部　新たなる恋情の詩

第一章　李冶・薛濤・魚玄機と「相思」の詩――詩にみえる「相思」の語を逐って――

〔漢代から唐代に至るまでの「相思」／唐代における「相思」／「相思」の用例からみる恋情の詩〕

第二編　日本における薛濤詩の受容

第一章　薛濤詩の日本への伝来

〔「薛濤図」添書／薛濤の別集と薛濤詩を収録する總集／『舶載書目』等から探る薛濤詩の伝来〕

第二章　日本における薛濤詩の受容の様相

〔和刻本にみえる薛濤詩の受容／日本漢詩にみえる薛濤詩の受容／和文体の翻訳詩にみえる薛濤詩の受容〕

第三章　日本で愛好された薛濤の詩　　主要参考文献／あとがき／初出一覧　　索　引

付表Ａ　唐代女性詩人一覧／付表Ｂ　薛濤詩一覧／付表Ｃ　薛濤詩を収録する総集の日本への伝来年一覧

◎原文の味わいをいかに伝えるか。渾身の『水滸伝』訳注書発刊！ —全巻予約受付中—

詳注全訳水滸伝 全十三巻

京都府立大学教授 小松 謙 訳注

▼A5 判上製・平均 320 頁・定価 7,700～8,800 円　年 2～3 冊刊行予定

詳注全訳水滸伝 第一巻　定価 7,700 円 ISBN978-4-7629-6680-4 C3397 2021 年 7 月刊
詳注全訳水滸伝 第二巻　定価 7,700 円 ISBN978-4-7629-6681-1 C3397 2022 年 4 月刊
詳注全訳水滸伝 第二巻　定価 7,700 円 ISBN978-4-7629-6681-1 C3397 2022 年 4 月刊

【本書の特色】

◎原文の雰囲気を可能な限り自然な日本語に移すことを目指した。
◎底本は、完全な本文を残す最古本「容與堂本」（中国国家図書館所蔵）を使用。「容與堂本」本文に問題がある場合は、注釈において指摘し、他本の本文を採用した。
◎本文は原則新字を使用。注釈であげる書名は繁体字（正字）、引用は伝統詩文については繁体字、『水滸伝』本文を含む白話文学については、原文の用字をできるかぎり正確に再現した。
◎「容與堂本」・「金聖歎本」に附された批評は、中国・日本文学に与えた影響を鑑み全文を翻訳。

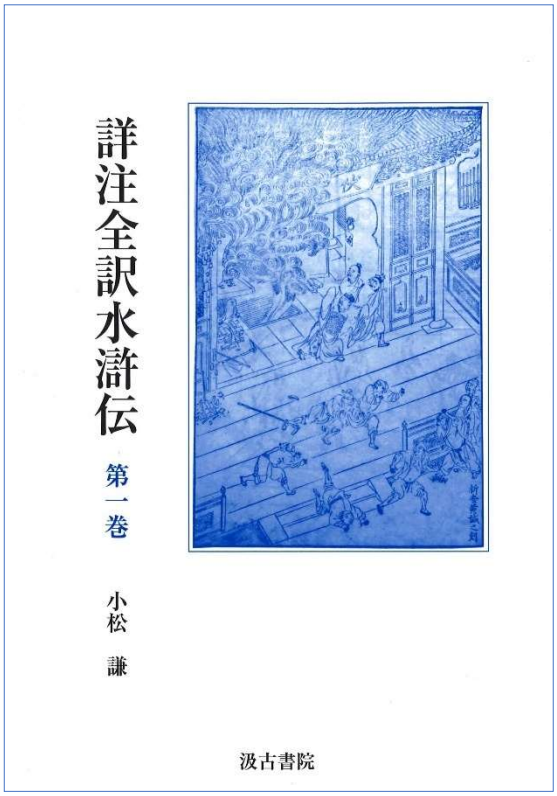
詳注全訳水滸伝　第一巻～第二巻

第一巻　第一回配本（2021 年 7 月刊）

引 首
第一回　張天師　疫病を祓い　洪太尉　誤って妖魔を放つ
第二回　王教頭　私かに延安府に走り　九紋龍　大いに史家村を鬧がす
第三回　史大郎　夜　華陰県より走り　魯提轄　拳もて鎮関西を打つ
第四回　趙員外　文殊院を重修し　魯智深　大いに五台山を鬧がす
第五回　小覇王　酔って銷金の帳に入り　花和尚　大いに桃花村を鬧がす
第六回　九紋龍　赤松林に剪逕し　魯智深　火もて瓦罐寺を焼く

第二巻　第二回配本（2022 年 1 月刊行予定）

第七回　花和尚　倒に垂楊柳を抜き　豹子頭　誤りて白虎堂に入る
第八回　林教頭　滄州の道に刺配され　魯智深　大いに野猪林を鬧がす
第九回　柴進　門に天下の客を招き　林冲　棒もて洪教頭を打つ
第十回　林教頭　風雪山神廟　陸虞候　火もて草料場を焼く
第十一回　朱貴　水亭に号箭を施し　林冲　雪夜梁山に上る
第十二回　梁山泊に林冲落草し　汴京城に楊志刀を売る
第十三回　急先鋒　東郭に功を争い　青面獣　北京に武を闘わす



◎中国語の女性三人称代名詞「她」(ta)の創生と承認の背景を歴史的・文化的側面から描き出す！

「她（かのじょ）」という字の文化史

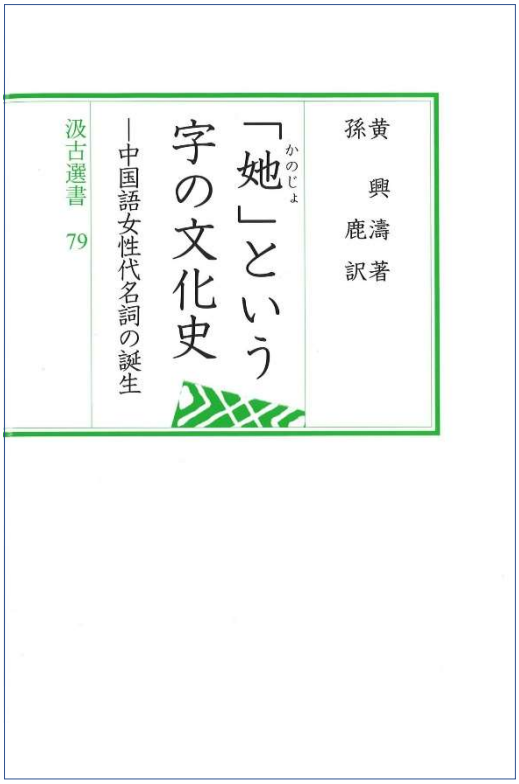
――中国語女性代名詞の誕生

中国人民大学歴史学院教授　黄 興濤 著 ／ 孫 鹿 訳

▼四六判・260 頁・定価 4,180 円 ISBN978-4-7629-5079-7 C3322　2021 年 9 月刊　汲古選書 79

【「日本語版序文」より】（抜粋）

今日の中国人の多くは、日常的に使用されている女性三人称代名詞〈她〉の字が、五四運動期に漸く形成され、徐々に普及した新名詞であることを知らない。〈她〉の由来について知る人々でさえ、しばしばこの字が劉半農の詩「どうして彼女を想わずにいられよう」において創造されたと誤解している。〈她〉という字の形成と普及の生動的な歴史や、それが含み持つ豊かな文化的含意については、一層深い理解が乏しい状況である。実際、現代中国語の新しい女性代名詞記号としての〈她〉の誕生、早期の書記実践と社会に受容されるプロセスには、探索と吟味に価する豊富で多彩かつ複雑な歴史的内容が含まれている。このプロセスの全面的な提示は、現代中国語の改革、新文芸の起源、女性解放意識の出現と強化及び社会への浸透、そして清朝晩期・民国期における中外文化交流の相互作用などを理解する上で、特有の歴史的文化的意義を持つ。これは私が〈她〉という字を研究対象にしようと考えた最初の動機である。



【「訳者あとがき」より】（抜粋）

本書は黄興濤氏『“她”字的文化史――女性新代詞的発明与認同研究』の邦訳である。同書は 2009 年福建教育出版社より刊行されてから好評を博し、2015 年に北京師範大学出版社から増補版が刊行された。本書は増補版を訳出したものである。（中略）

本書は現代中国語の女性三人称代名詞「她」という字の「発明」から社会一般に浸透するまでの過程を追うものである。近代以前の日本語と中国語の三人称代名詞はいずれも男女未分化の形であった。19 世紀半ば以降、西洋文化を受容する過程において、英語の she やフランス語の elle、ドイツ語の sie などヨーロッパ諸語の女性三人称代名詞に対応する語として「彼女」と「她」がそれぞれ創出された。（中略）

本書の最大の特色は、歴史研究者の手によって「她」の誕生と普及の文化史的意義が解明されたことであろう。著者は「她」という字を単に東西文化の接触によって現れた言語現象として捉えるのではなく、「她」の発明を 20 世紀中国の「文化史的な出来事」の一つとして捉え、この「出来事」が現代中国語、中国のジェンダー文化、文学、思想観念の変遷に与えた影響について丹念に考察した。著者は「她」と

同じ時期に提案された複数の女性三人称代名詞候補をめぐる劉半農、魯迅、陳寅恪など当時の代表的な文化人が加わった論争、対立を通じて、「她」の発明から定着までの過程を近代中国の激動の歴史のなかで描いた。翻訳作業を進めながら、日常何気なく使っている「她」という字の背後に波乱に富んだ物語が繰り広げられていたことに驚かされた。おそらくこれが文化史研究の醍醐味であろう。中国語に興味のある読者はもちろんのこと、中国近代史、近代中国のジェンダー問題に関心のある読者にとっても読み応えのある一冊であろう。

【内容目次】

日本語版序文
導入：〈她〉という字と「文化史的出来事」
第 1 章　“she”の翻訳の困難――ヨーロッパ言語との接触後に現れた新しい問題
1、“she”の中国語翻訳の困難の出現　2、『文法初階』の独創的翻訳とその限界
第 2 章　〈她〉という字の誕生と〈他女〉、〈妛〉
――『新青年』の編集者による早期の協議と試み
1、〈她〉という字の考案と、それに先立って流行した「他女」
2、“she”の翻訳方法に関する銭玄同と周作人の初期の討論
第 3 章　1920 年 4 月以前の〈她〉という字の早期使用についての考察
――文学の角度からの追跡
1、康白情と兪平伯、及び新文学における〈她〉という字の導入
2、詩における最初の〈她〉の導入、及び早期のいくつかの用例
第 4 章　〈她〉の存廃をめぐる論争、〈她〉と〈伊〉の競合
――言葉を選ぶ者と選ばれる言葉
1、〈她〉という新たな字は廃止されるべきか
2、〈她〉と〈伊〉の競争、一時は〈伊〉が優勢を占めた
第 5 章　性別への戸惑い：「女」に関連する語
――男女平等の観念と〈她〉という字の出会い
1、男女平等の観点から〈她〉という字に反対する三つの態度
2、「英雌」と〈她〉――言葉、性別、政治
第 6 章　〈她〉と〈他〉、〈牠〉、〈它〉――新しい代名詞系統の形成と位置づけ
1、三人称代名詞の区分についての異なる方案と議論
2、〈它〉と〈牠〉という二字の造り変えと〈她〉の定着
第 7 章　1920 年 4 月以後の〈她〉という字の普及の過程
――人々の認識の深まりと定着について
1、『小説月報』と中学国語教科書に見る〈她〉という字の社会への浸透
2、陳寅恪らの最後の「抵抗」と周瘦鵑の最終「降伏」
第 8 章　近代化への要求と、外国語の要素並びに中国語の伝統との相互作用
――〈她〉という字の勝利の原因とその歴史的文化的影響
1、〈他〉と同じ発音だが形はやや異なる：〈她〉という字が〈伊〉に勝利した主な原因
2、近代化を透視する：さらなる発掘を要する多角的分析
3、〈她〉という言語記号がもたらす文化的効果についての歴史的考察
あとがき／主要参考文献／訳者あとがき

◎戦時下における舞踏家たちの活動を辿り、その実態と役割を探る！

翼賛体制下のモダンダンス

――厚生舞踊と「皇軍」慰問――

名古屋大学教授　星野幸代　著

▼A5判上製・306頁・定価7,700円 ISBN978-4-7629-4260-0 C3021　2022年9月刊

【序章より】（抜粋）

本書は、日中戦争および太平洋戦争下における国民の身体に関する文化政策の状況を踏まえて、陸軍省恤兵部の派遣した「皇軍」演芸慰問団、厚生省の要請に応えた厚生舞踊のうち、モダンダンスを対象としてその役割と効果を考察するものである。

本書は二部構成で、第一部総論、第二部が各論である。

第一部第一章では翼賛体制下のモダンダンスはどのような機関、制度のもとで行われていたのかを検討する。この章が必要であるのは、第二章で紹介するイベントがそれらの機関、制度の後援ないし統制のもと、舞踊家たちが結集して行われていたからだ。第二章は皇紀二六〇〇年記念の舞踊イベントと、その延長として行われた戦時期の舞踊コンクールを中心に、戦時下の舞踊家たちの動向を群像として追う。

第二部は慰問と厚生運動において重要な役割を担ったと現段階で考えられる舞踊団の活動に関する各論である。第三章では石井漠舞踊団の、第四章では宮操子・江口隆哉舞踊団の大陸慰問を考察する。第五章では、石井みどりの参加した比較的大掛かりな日本放送協会（現在のＮＨＫ）主催によるビルマ駐留軍慰問団の動向を再構成し検討する。第六章では、石井みどり舞踊団の太平洋戦争期における国内工場慰問について考察する。エピソードとして慰問に参加した舞踊家たちの活動の、戦後への接続を概観する。

【内容目次】

凡例

第一部　総論

序章

一　目的と意義

二　位置づけと研究方法〔戦時期舞踊を「想起」する／「帝国のまなざし」〕

三　先行研究

四　用語と視座――モダンダンスについて〔本書におけるモダンダンスの範囲／日本のモダンダンスの系譜／慰問に適していたモダンダンス／舞踊とプロパガンダの身体的「共振」について〕

五　戦時舞踊とジェンダー――主体的に踊る身体、見られる身体の曖昧化

六　本書の構成

第一章　戦時下の舞踊をめぐる文化政策――厚生運動と恤兵部

一　厚生大会から工場舞踊まで〔厚生運動とは／世界厚生大会――日本へ「厚生運動」導入の契機／厚生省（一九三八年一月）と日本厚生協会（一九三八年四月）の成立／一九三八－四〇年日本厚生大会――近代的な集団体操の奨励〕

二　大政翼賛会文化部と産業報国会の移動文化隊構想〔昭和研究会（一九三三年一〇月――一九四〇年十一月）から大政翼賛会文化部へ／大政翼賛会文化部の発足（一九四〇年一〇月）／大政翼賛会文化部による地方文化の振興／大日本産業報国会の「文化尖兵隊」構想〕

三　厚生運動下における体操と舞踊の接近〔文部省後援・（財）日本文化中央連盟の発足／工場体操から工場舞踊へ（各種体操の「乱立」／工場体操の奨励／工場体操から工場舞踊への接続）〕

四　演芸慰問派遣のシステム〔大日本舞踊連盟（一九四〇年七月）／芸能文化連盟（一九四〇年一二月）／陸軍省恤兵部／芸能慰問の一元化――陸軍省恤兵部から芸能文化連盟へ委託〕

第二章　翼賛体制下の舞踊界

一　皇紀二千六百年奉祝芸能祭〔皇紀二千六百年奉祝芸能祭制定舞踊／「日本」三部曲／「日本」三部曲の評価〕

二　自主的参加装置としての舞踊コンクール〔日本文化中央連盟主催　創作舞踊コンクール／都新聞主催舞踊コンクール〕

三　厚生舞踊の奨励〔厚生舞踊とは／児童の身体動員と舞踊〕

四　芸能奉公隊の結成

五　戦時下バレエ団の群像〔東勇作バレエ団／貝谷八百子バレエ団／橘秋子バレエ団／エリアナ・パヴロバの客死／服部・島田舞踊団及び研究所〕

付録：短編小説「慰問舞踊」

第二部　各論

第三章　石井漠の大陸慰問

一　石井漠舞踊研究所

二　石井漠舞踊団の中国大陸、南方舞踊〔一九三三年「満洲国リズム」／一九三六年「北支那の感触」――通州事件の気配の中で／一九三八年一〇月―一月「舞踊慰問行」――呉佩孚擁立を掲げた要人たち／一九三九年五月―七月「ソ連国境を行く」／一九四一年四月―六月華南方面――石井漠不在の巡演／一九四三年七月――石井漠復帰〕

第四章　大陸、南方における江口隆哉・宮操子舞踊団――戦時の語り、戦後の記憶

一　一九三〇年代のドイツ留学とのつながり

二　大陸慰問〔第一回　広東方面へ／第二回　江南方面へ〕

三　再び江南方面へ、そして南方へ（一九四一年―一九四二年）

四　中国人へのまなざし

五　公演を観た中国の人々

第五章　日本放送協会による皇軍慰問演芸団――石井みどり舞踊団、南方へ

一　南方慰問の要請

二　一九四二年秋日本放送協会主催、皇軍慰問演芸団〔そうそうたるメンバー／シンガポールにて／ビルマの最前線へ／帰国後の「ビルマ独立の夕べ」〕

三　舞台の周辺にいた人々〔抗日戦争記念館に遺る慰問団の記録／演芸慰問の女性たちと慰安婦との間（一行の遭遇した慰安婦たち／舞踊団の女性と慰安婦との混同）〕

第六章　慰問舞踊と工場体操との親和性――石井みどり舞踊団の地方巡演

一　石井みどり舞踊団〔石井みどりとパートナー折田泉／台湾の舞踊家・蔡瑞月〕

二　石井みどり舞踊団の大陸慰問

三　石井みどり舞踊団の工場慰問一九四一―一九四五年〔公演スポンサーと慰問の対象／工場体操と工場舞踊／観衆の反応／国民歌と映画によるメディア・ミックス〕

四　参集した舞踊家たち

終曲　日本敗戦――その後の舞踊家たち

○　慰問団が来ない戦場の演芸会　　一　旧植民地の舞踊家たち　　二　日本の舞踊家たち

初出一覧　　日本放送協会主催南方慰問日程　　モダンダンスおよびバレエ軍隊慰問舞踊年表

参考文献　　あとがき　　索引

****

◎日中戦争下の大陸中国、日本を様々な形で彩った舞踏家の創作動機・背景を考察。初の日中近現代舞踊史研究なる！

日中戦争下のモダンダンス――交錯するプロパガンダ――　星野幸代 著

▼A5 判・224 頁・定価 6,600 円　ISBN978-4-7629-6603-3 C3022　2018 年 2 月刊

◎戦時下話劇の複雑な諸相を「重なり合う戦術」という観点から記述する試み

重畳たるタクティックス:
日中戦争期の話劇をめぐって

佛教大学准教授 楊 韜 著

▼A5判上製・240頁・定価8,800円 ISBN978-4-7629-6698-9 C3022　2022年1月刊

【序章より】(抜粋)

筆者は本書において、以下のことを目標とする。さきの「日中戦争期における話劇文芸の概説」から分かるように、この時期の文化現象は非常に流動的なものである。この動態的な枠組みにおいては、様々な衝突や矛盾が異なる範囲・異なる水準、しかも場合によっては同時進行の形で常に生じていたわけである。このような決して一定の形を保つ「固体」ではない現象を検討するさいに、できるだけその膨大かつ複雑な諸相を「脈絡」によって立体的に見ることが重要だと考える。ゆえに、筆者はここで「重畳たる戦術」という「脈絡」を導入し、日中戦争期の話劇をめぐる現象を可視化することを試みたい。

【内容目次】

序章　日中戦争期の話劇史研究という課題
はじめに
第一節　日中戦争期における話劇文芸の概説　　第二節　先行研究の検討
第三節　本書の視座と全体構成　　結びに
第一章　戦時下話劇界の重層的生態図
はじめに
第一節　戯劇春秋長夜行：近代話劇人の生態縮図
第二節　八千里路雲和月：戦時下移動演劇隊の実態と表象
第三節　双面人生共舞台：映画人鄭君里の話劇活動　　結びに
第二章　中央青年劇社という存在
はじめに
第一節　中央青年劇社の全体像　　第二節　中央青年劇社の組織構造とネットワーク
第三節　中央青年劇社の創作と上演
結びに　　【付録資料】『青年戯劇通訊』各号目次
第三章　重ね合う歴史と話劇
はじめに
第一節　借古喩今：戦時下の歴史話劇というジャンル
第二節　田漢の場合：『春帆楼上的対話』と『朝鮮風雲』を中心に
第三節　楊村彬の場合：『秦良玉』と『光緒親政記』を中心に　　結びに
補論　特殊な代弁者
はじめに
第一節　日中戦争下中国における反戦日本人の概説
第二節　反戦日本人による抗戦話劇運動の実態
第三節　丁玲の『河内一郎』と関係させて考えること　　結びに
終章　まとめと展望
関連略年表／文献一覧／後書き／論文初出一覧
人名索引／演目索引／英文要旨／中文要旨

◎「上博楚簡」・「北大秦簡」・「北大漢簡」を検討し、「故事」「教訓書」の実態を明らかにする

中国新出土文献の思想史的研究

――故事・教訓書を中心として――

日本学術振興会特別研究員RPD　草野友子 著

▼A5判上製・514頁・定価13,200円 ISBN978-4-7629-6693-4 C3010　2022年1月刊

【主要目次】

はじめに

序　論

第一章　中国新出土文献研究概述

新出土文献の発見と中国思想史研究／新出土文献の研究概況／研究目的・研究方法

第二章　上博楚簡における誤写の可能性について――『武王践阼』『鄭子家喪』を中心に――

上博楚簡『武王践阼』における「義」と「敬」／上博楚簡『武王践阼』における「志」と「忘」／上博楚簡『武王践阼』における「而」と「天」

第三章　中国古代における王の呼称――上博楚簡『鄭子家喪』を中心として――

上博楚簡『鄭子家喪』における「王」と「君王」／上博楚簡における「君王」の呼称／伝世文献における「君王」の呼称

第一部　楚国故事の研究

第一章　上博楚簡『成王為城濮之行』の構成とその特質

基礎情報／釈読／伝世文献との比較／上博楚簡に見える楚国故事の性質

第二章　上博楚簡『申公臣霊王』の全体構造　　基礎情報／釈読／全体構造の検討

第三章　上博楚簡『邦人不称』の全体構成――「不称」を手がかりとして――

竹簡の排列・綴合・帰属／釈読／内容と構成

第四章　上博楚簡『命』の著作意図　　基礎情報／釈読／内容の検討

第五章　上博楚簡『陳公治兵』の竹簡排列と復原　　基礎情報／釈読および竹簡排列・内容の検討

第六章　上博楚簡『柬大王泊旱』の思想的特質　　基礎情報／釈読／思想的特質／小結

第二部　故事類文献の研究――魯・斉・晋――

第一章　上博楚簡『魯邦大旱』における旱魃とその思想

基礎情報／釈読／思想的特質／旱魃記事の比較／小結

第二章　上博楚簡『競建内之』『鮑叔牙与隰朋之諫』の関係とその思想

両篇の関係／釈読／思想的特質／著作意図／小結

第三章　上博楚簡『姑成家父』の文献的性格　　基礎情報／釈読／百豫について／文献的性格／小結

第三部　新出土文献から見る教訓書

第一章　北大漢簡『周馴』の思想史的研究――『詩』の引用を中心に――

基礎情報／『周馴』引『詩』の検討／小結

第二章　北大秦簡『教女』の基礎的研究

北大秦簡『教女』について／釈読／『女誡』との比較／小結

結　　語　　初出一覧／あとがき／中文目次／中文摘要／索　引

◎術數學研究の最先端を駆ける6人の執筆者が存分に述べる専論集！

術數學研究の課題と方法

武蔵大学教授 **水口拓壽 編**

▼A5判上製・256頁・定価8,800円 ISBN978-4-7629-6709-2 C3010　2022年3月刊

【始めにより】（抜粋）

本書は、編者のわたくしを含めた五名の研究者――川原秀城・張哲嘉・佐々木聰・髙橋あやの・水口拓壽――が、二〇二〇年五月に東方學會第六十五回國際東方學者會議の一部として開催豫定だったシンポジウム「術數學研究の課題と方法」の企畫に基づいており、そのために準備濟であった各自の報告内容に推敲を加え、論文集にまとめて刊行するものである。シンポジウムは、折悪しくもかの疫病蔓延のため取り止めとなったが、わたくしたちは既に一年以上をかけてシンポジウムを企畫し、各自の報告内容を練り上げていたのであり、その成果を學術書(論文集)の形式で公表しようということで、右記全員の意志が固まった。後から平澤歩も執筆陣に加わり、本書は六名の著者による論文集として制作を進めることになった。

六篇の論文は、扱われる術數分野や時代が異なるだけでなく、術數學に對する認識の如何や關心の所在も、著者間で必ずしも一致していない。その點を批判的に見られる向きがあるかもしれないが、本書の制作目的は、術數學研究の「正解」や「正統」をわたくしたちで決議することではなく、まして多數決方式でそれを行うつもりはないので、このような不一致は、むしろ自然なことだと考えている。（中略）

中國傳統文化の研究對象として術數學に注目することは、それが天人相關の宇宙觀を精緻に體系化しながら、數理的思考や象徵の體系をめぐる思考を高度に發達させ、地上に生きる人間の欲望と恐れに向き合い續けた、中国獨特の知的領域であるという點において大きな重要性を持つ。現在の廣域的な華人社會においても、術數學の有する文化的影響力は依然として無視できない。本書は、兩漢から中華民國に及ぶ術數學の通史的概説としても讀んでいただけるので、これまで術數學に關心をお持ちでなかった方々にも、既に術數學について一家の言を有しておられる方々にも、ぜひ本書にお目を通していただきたく思う。そして、忌憚のないご意見やご批正を頂戴することができれば幸いである。

【内容目次】

始めに――術數學研究の來し方と行く手 …… 水口拓壽
術數學――數と易のパラドックス―― …… 川原秀城
漢代における術數と天文學的宇宙論 …… 髙橋あやの
テキストの變容する過程に關する一試論――『洪範五行傳』を題材に論ず …… 平澤　歩
中國歷代王朝における天文五行占書の編纂と禁書政策 …… 佐々木　聰
儒學・術数・方技を結合する――朱震亨『風水問答』の達成と挫折 …… 水口拓壽
五四以後中國「子平」術面臨的困境與轉進（中國語） …… 張 哲 嘉
五四以後に中國の「子平」術が直面した苦境とその轉進（日本語） …… 張 哲 嘉（水口拓壽 譯）
終わりに――術數學研究の途上にて …… 水口拓壽

◎道教が大きく發展した時代に三教交渉の視點から迫る

晉唐道教の展開と三教交渉

東京大學大學院
人文社會系研究科研究員　李 穌書 著

▼A5判上製・546頁・定価14,300円 ISBN978-4-7629-6711-5 C3010　2022年3月刊

【主要目次】

序　論
一、「黄巾」から語る　二、多岐にわたる「道教」像　三、先行研究概觀　四、本書の目的と構成

道　篇

第一章　「道」の諸貌：東晉南北朝初期道經における「道」を中心に
一、古上淸經系經典に見える「道」と至尊神
二、古靈寶經系經典に見える「道」と至尊神　元始舊經／仙公新經
三、重層的な至尊神體系の形成

第二章　再び「道」へ：隋代以前における重玄思想について
一、『太玄眞一本際經』における重玄思想について
二、『老子道德經開題序訣義疏』における重玄思想について
三、『道德眞經廣聖義』における重玄思想について
四、『道德眞經廣聖義』に見える重玄思想の二重構造について
五、隋代までのいわゆる「重玄諸子」の重玄説について　六、「道」への回歸

第三章　隋唐初期道教における般若學の空思想の受容について
一、『太玄眞一本際妙經』「護國品」に見える空思想について
二、『太言眞一本際妙經』「付囑品」に見える空思想について
三、『太言眞一本際妙經』における空思想の役割
四、新しい動き：『道經義樞』など諸道經に見える空思想について

第四章　三 淸 考
一、『洞玄靈寶眞靈位業圖』をめぐる諸問題
二、南北朝隋唐期道教經典に見える天界の三淸説と至尊神體系について
三、南北朝隋唐道教の齋法科儀類經典に現れた至尊神信仰體系の變遷
四、南北朝道教戒律經典に見える至尊神信仰體系について
五、道教における三淸信仰體系の成立

教　篇

第五章　北朝道教に關する幾つかの考察
一、造像記に見える老君と天尊　二、造像記の反映する北朝期における道教の發展史
三、正史並びに「道教實花序」に見える老君と天尊

第六章　晉唐佛教の道教批判論理の定型化——『弘明集』『廣弘明集』を中心に——
一、『弘明集』に見られる道教批判について　二、『廣弘明集』に見られる道教批判について
三、道教側の反應　四、後世への影響について

第七章　晉唐佛教の道教教理の理解について——『弘明集』『廣弘明集』を中心に——
一、『弘明集』に見られる道教教理の理解について
二、『廣弘明集』に見られる道教教理の理解について

第八章　道教・儒教と王權——漢唐間における道儒二教の祭祀儀禮を中心に——
一、はじめに　二、荀濟の排佛論から語る　三、儒教における六天説の成立と展開
四、道教儀禮に見える儒教六天祭儀の繼承と變容
五、道教・儒教・王權の競合：明代の靈濟宮を中心に　小結「屈服史」再考

終　章　参考資料／あとがき／索　引

◎石刻資料・地方志を用いて文献資料の不足を補い、金朝道教の未開拓の領域を解明する

金朝道家道教の諸相

熊本県立大学教授　山田　俊 著

▼A5判上製・750頁・定価15,400円 ISBN978-4-7629-6704-7 C3010　2022年2月刊

【総序より】（抜粋）

本著は、十二～十三世紀の間、中国北方を統治した女真族国家金朝の領域内に於ける道家道教の諸相を考察の対象とするものである。女真金朝を対象とするとは言うものの、女真族の思想・宗教を考察するものではなく、金朝が統治していた時代・地域に於ける思想・宗教を「中国」思想史・宗教史の一環として検討するものである。（中略）

本著では、第一篇で撰者が金人と特定出来る文献資料の注釈等の分析を行い、その結果を道家道教思想史の上に位置付ける。金朝の道家道教の諸相を窺おうとするのであれば、先ずは何を措いても注釈の類の検討が必要であろう。そして、第二篇では地方志の記述や石刻資料等を文献資料と突き合わせることで思想史的解釈を試みる。この両篇に亙る作業で、金朝道家道教の歴史性と地域性の両面の分析を試みるつもりである。

【主要目次】

総序　金朝道家道教研究の総括と再考

第一篇　注釈資料から見る金朝道家道教

第一章　『道德經』『陰符經』注釈総論
第二章　時雍『道德眞經全解』の思想に就いて
第三章　金朝『道德經』注釈資料としての李霖『道德眞經取善集』に就いて
第四章　李霖『道德眞經取善集』の思想に就いて
第五章　寇才質『道德眞經四子古道集解』に就いて
第六章　唐淳『黄帝陰符經注』の思想と道教思想史上の位置に就いて
第七章　劉處玄思想再考―『黄帝陰符經注』を中心に―
第八章　侯善淵の思想に就いて
第九章　趙秉文『道德眞經集解』に就いて
【補論　一】金朝道教「眞元派」再考
【補論　二】『淵源道妙洞眞繼篇』の文献問題とその内容に就いて
【補論　三】李畋『道德眞經疏』小考
第一篇　総括

第二篇　金朝道家道教と地域問題

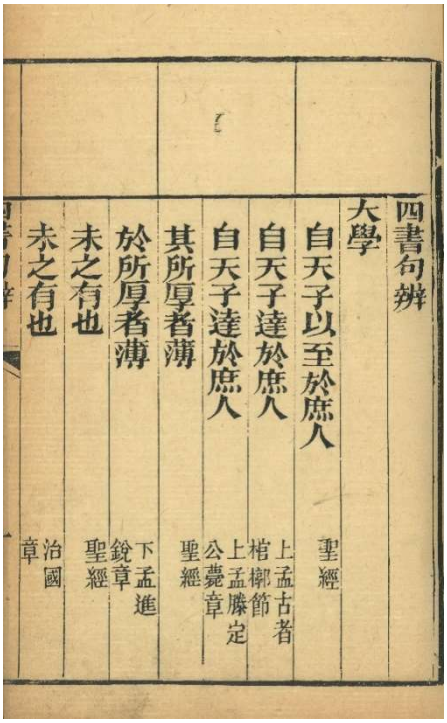
第一章　金朝道教地方志・石刻資料と文献資料概観
第二章　『太上玉華洞章拔亡度世昇仙妙經』と六十一巻本『度人經』
　　―金朝皇統年間山西地区の一事例―
第三章　喬宸「重立泰寧宮碑」・「太清觀記」に就いて
第四章　張萬公「太虛觀碑」に就いて
第五章　明昌二年碑文「太上玄靈北斗本命延生經」に就いて
　　【附】「明昌二年「太上玄靈北斗本命延生經（碑文）」校本」
第六章　『元始天尊説生天得道經』與「佛道圖文碑」「霍習墓幢」
　　――宋金元三朝道教の歴史性と地域性問題――
第七章　『凝陽董眞人遇仙記』に就いて
【補論　四】「元陽子」小考／【補論　五】「草衣子」小考
第二篇　総括
あとがき／人名索引／文献名索引

◎懐徳堂の中井竹山も注目した『四書句辨』の全訳・解説書　完結！

儒教の名句—『四書句辨』を読み解く—　全二巻

大阪大学教授　湯浅邦弘　編

▼上巻：A5 判・360 頁・定価 7,700 円　ISBN978-4-7629-6670-5　C3310　2020 年 12 月刊
▼下巻：A5 判・436 頁・定価 7,700 円　ISBN978-4-7629-6671-2　C3310　2021 年 11 月刊


四書句辨
大學
自天子以至於庶人　聖經
自天子達於庶人　上孟古者棺槨節
自天子達於庶人　上孟滕定公薨章　聖經
其所厚者薄　下孟進銳章　聖經
於所厚者薄
未之有也　治國章
未之有也

儒教の最重要経典「四書」は、印刷製本技術の発達とともに近隣諸国にも伝播し、儒教文化圏の形成に大きな役割を果たした。そうした中、読者の便宜を考慮して巻末に附録を併載するものが出てくる。その一つに「四書句辨（くべん）」がある。短編ではあるが、極めて興味深い内容で、「四書」の中から重要な語句を取り上げ、同一または類似する他の用例を併記したものである。

この附録付きの「四書」は、江戸時代初期には日本でも和刻本として刊行され、大坂懐徳堂の儒者中井竹山（1730～1804）は、この附録部分を自ら抜き書きし、『四書句辨』として独立させている。儒教の名句を学ぶ重要な教材だと考えたのであろう。

そこで本書では、中井竹山の思いを継承し、この『四書句辨』を単行本として現代によみがえらせることを目的とする。

上巻では、『大学』『中庸』『論語』までを取り上げ、下巻には『孟子』を収録し、巻末には「解説」として「『四書句辨』の成立と学術的意義」（湯浅邦弘）、「懐徳堂と「四書」」（佐野大介）、「『四書句辨』のテキスト問題—補遺を中心に—」（六車楓）を掲げ、さらに、「孔子・孟子関係年表」（菊池孝太朗）、索引を付す。

【主要目次】

上 巻（一部略）
はじめに（湯浅邦弘）／用語解説／凡例／春秋時代地図・戦国時代地図
一、『大学』　〔（1）～（12）一部略〕
（1）天子より以て庶人に至るまで　　（2）其の厚き所の者薄くす
（3）切するが如く磋するが如く琢するが如く磨するが如し
参考文献／執筆者紹介（湯浅邦弘・六車　楓・菊池孝太朗・黒田秀教）
下 巻（一部略）
一、　『孟子』　上〔（1）～（69）一部略〕
（1）王何ぞ必ずしも利と曰ん　　（2）賢者も亦た此を楽しむか
（3）則ち何如。曰く不可なり　　（4）材木勝げて用うべからざるなり
参考文献
解説　『四書句辨』の成立と学術的意義（湯浅邦弘）／懐徳堂と「四書」（佐野大介）
『四書句辨』のテキスト問題—補遺を中心に—（六車楓）／（附録）孔子・孟子関係年表（菊池孝太朗）
あとがき／索引／執筆者紹介

◎二松学舎大学東アジア学術総合研究所・共同研究プロジェクト研究成果なる

中国古典学の再構築

二松学舎大学教授 田中正樹 編

▼A5 判・232 頁・定価 7,150 円 ISBN978-4-7629-6676-7 C3010 2021 年 2 月刊

【はじめに より】（抜粋）

本書は、二松学舎大学東アジア学術総合研究所・共同研究プログラムに採択された『中国古典学の再構築』の成果報告書である。本研究プロジェクトは二〇一七年度から二〇一九年度までの三年間にわたるもので、各年度ごとに一度二松学舎大学で学術シンポジウムを開催し、それぞれ異なるテーマを設定して研究成果を公開してきたが、本書を構成する諸論攷は原則的にその際の口頭発表を論文に纏めて頂くように依頼したものである。（伊藤論文は書下し）。

本共同研究『中国古典学の再構築』を構想した問題意識は、端的に（あるいは聊か大仰に）いえば「中国古典学」研究の現状に対する危機感、及び最新の研究手法への期待、という相反する現状認識、学問の「古」と「未来」をより良い方法で「再構築」することを目指そう、というものである。学問の諸分野に於いて危機感を持ってしばしば指摘される現代の「古典」研究に対する冷遇と、より実学的で明確な功利性に即した学術への移行の傾向は、現実に基礎研究の世界に対する軽視の普遍化と結びついているように思われる。「古典」は、常に既に新たな可能性を包含しているからこそ「古典」となりえたのであり、「古典」の内に「新たな可能性」を見出せないのは果たして諸「古典」の問題なのであろうか。……初年度はシンポジウム「『春秋左氏伝』と現代の中国学」を開催した（具体的なプログラムは巻末の「シンポジウムの記録」を参照）。二年目のシンポジウムでは、近年注目を集め始めている志怪小説集『夷堅志』の著者である南宋の士大夫・洪邁をテーマに取り上げた。……最終年は、古典学の総括としてふさわしいテーマに『孟子』を選んだ。……それぞれのシンポジウムの成果は、本書の各論攷をご覧いただき、中国古典学研究の新たな息吹を感じていただければ幸いである。（代表 田中正樹）

【内容目次】

はじめに

一 『春秋左氏伝』と現代の中国学

講演録 『春秋左氏伝』・『春秋正義』・『春秋集箋』 …… 野間文史

注疏宋元版と校勘についての最新私見 …… 橋本秀美

《春秋》と日本の年号 …… 水上雅晴

二 南宋の士大夫・洪邁の学術

中国史研究者から見た南宋の知識人・洪邁と『夷堅志』 …… 須江 隆

洪邁『容斎随筆』の三国論 …… 伊藤晋太郎

洪邁学術思想初探 …… 田中正樹

三 二一世紀に於ける『孟子』像の新展開――中国古典学と孟子――

五行から四端へ――孟子による子思思想の受容と改変―― …… 末永高康

『孟子』の北宋を読み解く …… 市來津由彦

シンポジウムの記録／あとがきにかえて／執筆者一覧

（二松学舎大学学術叢書）

◎現行本『小学』は朱熹の編纂書である――朱熹の編纂意図に迫る論考！

朱熹『小学』研究

國士舘大学教授　**松野敏之　著**

▼A5判上製・346頁・定価9,900円 ISBN978-4-7629-6694-1 C3010　2021年9月刊

【序章より】（抜粋）

近世の東アジアに大きな影響を与えた朱熹（一一三〇～一二〇〇）は、学問を「小学」「大学」に区分した。八歳から学ぶ「小学」と、十五歳から学ぶ「大学」である。朱熹の学問は、後世「朱子学」と呼ばれ、中国のみならず日本・朝鮮・ベトナム等広範囲の地域に広がっていった。学問を「小学」「大学」という段階で区分することも、近世の東アジアにおいて共有されることとなる。（中略）

大学の学問に関して朱熹は、『大学章句』を始めとする『四書集注』や『近思録』（呂祖謙との共編）などを執筆した。そして淳熙十四年（一一八七）、小学を学ぶためのテキストとして『小学』を編纂した。朱熹の著書は、その後の朱子学の影響と共に大いに読まれることとなる。日本でも、江戸時代の藩校や書院では『四書集注』と共に、『小学』が教科書として読まれていた。歴史上、『小学』を読んだ者は相当数にのぼるであろう。ところが、近代以降、研究対象として『小学』が採りあげられることはほとんどない。『四書集注』と共にかつては東アジアにおいて圧倒的な読書人口を持った『小学』であったが、現在の研究においてはほとんど顧みられることがない。その要因は主に二つある。一つは著者の問題、いま一つは経書などから引用してきただけの書と見られることである。（中略）

『小学』については、明代までは朱熹の著とされてきたが、『四書全書総目』が「『小学』の編纂は、実際には劉清之に託した」と記したことを筆頭として、清以降になると、朱熹が劉清之（一一三三～一一八九）に依頼して編纂した書とする見方が増えていった。『小学』は劉清之と朱熹の共編、あるいは朱熹は指示を出しただけで実際には劉清之が編纂したという見解である。『小学』が朱熹の編纂書でなければ、朱熹研究として注目されないのは仕方のないことである。しかし、朱熹と劉清之の『小学』に関するやりとりを確認する限り、現行本『小学』は朱熹の意が反映された朱熹の編纂書である。（中略）

……本稿では、近代以降の研究対象としてはあまり顧みられることのない『小学』について、朱熹がどのような見解に基づき、どのような意図を働かせていったのかを検討していく。朱熹の『小学』編纂に対する配慮を確認するものであり、いわば本稿は編纂者としての朱熹に注目するものである。

【内容目次】

引用資料凡例
序　章
第一章　朱熹小学書と劉清之小学書
　資料一　劉清之年譜（一一三三～一一八九）　資料二　『小学』『戒子通録』共通章
第二章　『小学』編纂
　第一節　『小学』内篇――原典からの修訂　資料三　『小学』内篇修訂一覧
　第二節　宋代訓蒙書と『小学』の構成　資料四　『小学』構成表（一覧）
　資料五　『小学』構成表（章数）
　資料六　『小学』嘉言篇・善行篇と推定朱熹参照書籍一覧
第三章　『小学』における『孝』
　第一節　明倫篇「父子之親」　資料七　『小学』における孝の話題
　第二節　孝と諫め　第三節　朱寿昌譚
第四章　孝行譚の選択
　第一節　累世同居・廬墓・孝感　第二節　割　股
第五章　敬身篇の編纂
第六章　元明清時代の『小学』
終　章　朱熹と小学教育　参考文献／あとがき／索　引

◎清末の知識人は複数の「文明」から自らの思想資源を探っていったと考察する画期的論考なる

清末思想研究

――東西文明が交錯する思想空間

愛知県立大学教授　川尻文彦 著

▼A5判上製・496頁・定価13,200円 ISBN978-4-7629-6697-2 C3010　2022年1月刊

【序章より】（抜粋）

清末思想の研究では、例えば「洋務・変法・革命」の段階論、あるいは「西洋の衝撃」に対する「中国の反応」などの図式によって描く先行研究が存在した。本書はそれらの図式を採らない。本書は、西洋文明と東洋文明が交錯する思想空間として清末思想を捉える。

本書は第一部「東西文明への視角」、第二部「東西の学知の連鎖」、第三部「自由への懐疑と模索」、第四部「共和革命を目指して」の四部構成をとる。

第一部「東西文明への視角」では、東西文明を分析する視座を提供した清末におけるいくつかの議論を紹介する。近代中国の知識人たちは東洋文明の立場から西洋文明をどのように捉えようとしたのか。

第二部「東西の学知の連鎖」では、西洋の諸学知（社会契約論、政治学、哲学）が中国においてどのように理解されたのかを具体的に分析する。西洋の学知は単なる「受容」という枠組みだけで理解することは出来ないであろう。西洋の学知の中国への仲介者としての「東学」（日本における西洋学術）にも言及する。

第三部「自由への懐疑と模索」では、近代中国における「自由」についての思索をこれまでとは異なる角度から分析を加える。中国の知識人の多くは「自由」を西洋近代社会の根幹であると考えており、「自由」について様々な思索を行っている。

第四部「共和革命を目指して」では、いわゆる「革命」論が興起したとされる時期を分析の対象にする。「革命史観」では捉えることの出来なかった側面に焦点を当て、新たな思想史像を提示する。清末は知識人たちが革命運動のかたわら西洋的なデモクラシーを探求した時期でもあったのである。

【主要目次】

序　章

第一部　東西文明への視角

第一章　「中体西用」論と「学戦」――張之洞『勧学篇』の周辺

第二章　辜鴻銘と「道徳」の課題――東西文明を俯瞰する視座

第三章　近代中国における「文明」――明治日本の学術との関連で

第二部　東西の学知の連鎖

第四章　清末中国におけるルソー『社会契約論』

第五章　梁啓超の政治学――明治日本の国家学とブルンチュリを中心に

第六章　梁啓超と徳富蘇峰――馮自由「日人徳富蘇峰与梁啓超」と梁啓超の「盗用」をめぐって

第七章　近代中国における「哲学」――蔡元培の「哲学」を中心に

第三部　自由への懐疑と模索

第八章　清末の「自由」

第九章　自由と功利――梁啓超の功利主義理解を導きに

第四部　共和革命を目指して

第十章　ある「革命」論――留日学生界の動向

第十一章　宮崎滔天『三十三年の夢』と章士釗『孫逸仙』――孫文と共和主義

第十二章　近代中国におけるデモクラシーの運命――「民主」と「共和」

終　章　　参考文献一覧／あとがき／人名索引

◎日中グローバル化を世界史の中に捉え直し、日本と中国の存在意義を追求する

国家の想像と文化自覚

――日中グローバル化の史的研究

大妻女子大学教授　**銭国紅　著**

▼A5判上製・574頁・定価14,300円 ISBN978-4-7629-6716-0　C3010　2022年7月刊

【はしがきより】（抜粋）

本書は世界の一体化はいかにして進行したか、グローバル化、すなわち世界の一体化はどのようにして起こり、世界史にどのような影響を及ぼしたか、国境を超えるヒト・　モノ・カネ・情報・文化の緊密な移動、その移動を通じた各種のネットワークの形成を観察し、記述するグローバル世界史の研究（秋田茂『グローバル化の世界史』ミネルヴァ書房　2019 年）の目標を共有しつつ、中国と日本のグローバル化の実際を浮き彫りにし、世界における中国や日本の存在意義を新しい視点や角度から深く問いかけるものである。また本書の日本での出版は、他山の石」との役割も期待できる。筆者の中国人としての目から観察した日本の記述から、日中両国の相互理解や日本人の自国認識や中国認識に対しても、少なからざるヒントと刺激を与えるだろうと信じる。

第一部―第三部は日本と中国における世界像の形成を、アジアとの連動において捉え、近代以前の日本における「世界意識」の芽生えとその成長ぶりを、蘭学者と清末知識人を中心とする知識人の思想や行動を通じて分析する。

第四部では伝統とグローバル化との関係を考察する。儒教は古代中国で非常に厳密な政教合一の形態を持っている。ここでは政権は即ち教権であり、皇帝の教権的身分は天の子であり、皇帝の発する行政命令の冒頭では「奉天承運、皇帝詔曰」となっている。しかし政権と教権が長期間において癒着する結果、辛亥革命によって皇権が転覆されると、儒教も皇権の崩壊に伴い急速に政治の表舞台から消えていく。しかし儒教というＤＮＡは本当に中国社会という膨大な「体」からその「用」を完全に喪失させてしまっただろうか、第二部はこうした伝統とグローバル化との関係を近代初期の日本との比較を通じて考察する。

第五部では日中両国の知的思想家たちが新たな国家構想を模索する中、如何にして文化自覚の境地に至ったかを分析する。

【主要目次】

はしがき

第一部　天下国家からグローバル世界へ

序　論

第一章　想像的世界から現実的世界へ

１　東西勢力の交代と大航海　２　地図にみる日本人の世界　３　ロシアの南下と海国日本の自覚

第二章　中国における世界像の変遷

１　マテオ・リッチと万国全図　２　『三才図会』の世界像

３　清朝中国から見たロシア　４　拡大された世界と海

第二部　徳川時代の知識人と「世界」

第三章　洋学系知識人の登場

１　世界的視野の原点（新井白石／前野良沢／杉田玄白）

２　憧れと脅威の世界（司馬江漢と本多利明／大槻玄沢／山村才助／渡辺崋山／箕作阮甫）

第四章　非洋学系知識人の場合

1　山片蟠桃の世界認識　　2　平田篤胤の「日本」発見

第三部　日中知識人に見る世界像の形成

第五章　『海国図志』の衝撃と幕末日本

1　魏源の新しい世界像（魏源とその「西洋」体験／『海国図誌』における対外認識／世界の拡大と危機意識／『海国図誌』から『瀛環志略』へ）

2　幕末の知識人と『海国図志』

第六章　「世界のなかの日本」へ

1　佐久間象山の構想（危機意識と価値の世界化／「東洋道徳と西洋芸術」の提唱）

2　佐久間象山と魏源の比較

第七章　グローバル世界への出発

1　福沢諭吉の文化ショック　　2　容閎とその『西学東漸』　　3　洋上の対話

第四部　グローバル化と伝統の間に

第八章　天下国家観の起源と儒家の理想

1　天命の形成（神話や伝説の中の儒教理想／天と人の関係の変化／孔子の教え／孔子学の表層と深層／教育の目標／君子の役割／超越的価値の源泉）

2　儒者から祭天権を奪う秦の始皇帝（天の威力を取り戻す董仲舒と儒学の転向／天人関係から見た孔子一門と董仲舒の異同）

3　天地、万世、人類のための理学体系の構築（天理の発露は修養次第／『四書』の構成と朱子学の本質／朱子学と科挙制度／心学の登場と新儒教の変遷／儒教と儒学の再分離）

第九章　グローバル化の思想装置としての伝統

1　救亡という名の伝統回帰　　2　近代の政治と儒教文化　　3　近現代の経済儒教文化

第十章　日本のグローバル化と伝統文化

1　福沢諭吉の文明進歩観と儒教　　2　福沢諭吉の家族観と儒教

第十一章　現代新儒家の理想と運命

1　現代新儒家たちの東西文化論　　2　儒教文明からのメッセージ

第五部　グローバル化の国家構想と文化自覚

第十二章　詩史交響の東洋狂想曲――清末文人黄遵憲の「日本」想像

1　日本との遭遇　　2　虚像から実像へ　　3　明治の「復古」と「惟新」

4　「アジアの振興」への期待　　5　日本発見の階層構造

第十三章　夏目漱石の東洋と西洋

第十四章　梁漱溟の「東方化」構想と文化自覚

1　問題提起　　2　東西文化相対性への発見　　3　文化の個性への自覚

4　「新組織」構想と文化の精神　5「西方化」と「東方化」の意味構造

第十五章　清末民国知識人に見る「文化革命像」のスペクトル

1　研究の背景と問題所在　　2　辛亥革命後の革命家に見る「文化革命像」の表層構造

3　清末民国知識人に見るもう一つの「文化革命像」の深層構造

4　毛沢東の「文化革命像」の形成と清末湖南の教育環境

第十六章　現代中国における伝統再帰に関する一思考

1　ウェーバーとマルクス（新教倫理と儒教倫理の違う働き／儒教と中国社会の特別な関係性）

2　曾国藩と毛沢東への目差し（「曾国藩の家書」／聖なる「毛沢東像」の裏にあるもの）

3　改革開放と伝統回帰（「文革」の終焉と脱イデオロギーの時代／黒猫・白猫論／実践・真理論／「前に向かう」から「金に向かう」へ／文化開眼と民主化運動

終わりに代えて

参考文献一覧／初出一覧／あとがき／索　引

◎東アジア文化圏の持つ思想・宗教的側面への比較思想的アプローチを試みた 55 本

東アジアの王権と秩序

——思想・宗教・儀礼を中心として

国際日本文化研究センター・総合研究大学院大学教授　伊東貴之　編

▼A5判上製・948頁・定価22,000円 ISBN978-4-7629-6696-5 C3010　2021年10月刊

【内容目次】

序　言——日文研の共同研究会と本論集の趣旨 …… 伊東　貴之

特別寄稿

明朝初期の皇帝権力・文化政策・科挙 …… ベンジャミン　A・エルマン（田尻健太 訳）
「五倫天下関係論」倫理秩序の原理解析 …… 張　啓　雄（瀬尾光平 訳）
公羊伝・注の虚字解釈 …… 岩本憲司
中世の巡礼者と民衆社会——可能思想としての外来仏教—— …… 上川通夫
元禄十六年十二月の七社七寺祈祷・内侍所御神楽と徳川綱吉
——天皇と将軍に「宗教的機能」とその相剋は存在したのか—— …… 野村　玄

第Ⅰ部「中華帝国」の形成と確立——古代・中世の中国

老荘思想と倭国神話 …… 保立道久
東アジア国家における礼学および礼制の展開とその起源としての荀子礼治思想の特色　佐藤將之
中国古代における改暦思想 …… 長谷部英一
皇帝専制支配と中央集権——中国古代中世における皇帝・国家をめぐって—— …… 葭森健介
前漢初期の「胎教」思想——『賈誼新書』胎教篇とその政治的意義—— …… 工藤卓司
『春秋繁露』の郊祀論についての一考察 …… 深川真樹
班固「両都賦」と張衡「二京賦」——後漢知識人の洛陽（雒邑）観　初探—— … 井ノ口哲也
唐大明宮中枢部の変則的構造とその離宮的性格との関わりについて
——前殿、周制の三朝制、離宮という観点から—— …… 豊田裕章
東晋南朝の権力基盤と江南社会——晋宋交替期を中心として—— …… 李　済　滄
隋朝における一切経書写の意義——「宝台経蔵」をめぐって …… 古勝隆一
唐初期仏教の思惟形態 …… 橘川智昭
『史通』の実践性と『文心雕龍』…… 渡邉義浩
東アジアの擡頭書式 …… 岸本美緒

第Ⅱ部「日本」の成立と展開——古代・中世の日本

日本古代の君主号をめぐって——特に摂関期について …… 倉本一宏
鼠と馬をめぐる五行占——『日本書紀』が受けた影響と与えた影響—— …… 水口拓寿
日本天台における現実肯定思想と仏身に関わる若干の問題 …… 大久保良峻
貞観八年の広野河事件について …… 王　海　燕
入宋僧関連言説についての覚書 …… 手島崇裕
公家新制の僧侶過差禁制 …… 遠藤基郎

皇位をめぐる競馬 …… 近藤成一
三輪流神道の形成 …… 伊藤 聡
日本の中世後期における「天下」の概念と王権
——武家の実効支配と天皇の存在意義との関係—— …… 重田みち

第Ⅲ部「東アジア」の「近世」——中国の場合

北宋藍田呂氏家族墓園にみる家族秩序 …… 佐々木 愛
蘇軾の内丹説——その特徴と意義—— …… 横手 裕
人材を辨ず——真徳秀『大学衍義』の君主論—— …… 小島 毅
全真教と宋代内丹道の融合期における三乗論と頓漸論
——李道純と牛道淳を中心に—— …… 松下道信
『朱子語類』巻一百八「論治道」篇訳注（一） 1 条～16 条 …… 恩田裕正
伯夷・叔斉説話をめぐる弁疑とその君主論の含意——王直「夷斉十弁」を中心に … 新田元規

〈研究ノート〉「中」に悩む劉東星——李贄との共鳴、呂坤からの非難 …… 林 文孝

明朝前半期における割股——禁令と韓王府への奨諭 …… 松野敏之
大清帝国の王権と君主位——マンジュ王権としての一試論 …… 杉山清彦
身体技法（跪拝）からみる中国における典礼問題の一考察 …… 西澤治彦
伝統中国の国家・社会論のための一考察——「伝統中国をどう捉えるか？」補遺—— 伊東貴之

第Ⅳ部「東アジア」の「近世」——日本と朝鮮・韓国

五人組帳の思想史的考察 …… 前田 勉
皇統論覚書——浅見絅斎『靖献遺言』と朱子学—— …… 土田健次郎
荻生徂徠における儒教儀礼の問題 …… 吾妻重二
『朱子言論同異攷』成立過程小考 …… 中 純夫
近世東アジアにおける「祭祀共同体」構想 …… 澤井啓一
アイヌロ承文芸のなかの王権——王国を作らなかった東アジアの周縁民族・
アイヌの場合から”王権”を考える—— …… 児島恭子
反キリスト教文献集『破邪集』の日本における出版とその影響について …… 永冨青地
幕末期イギリスから見た日本の天皇・将軍・大名の位置づけ
——下関戦争から幕長戦争までを事例として—— …… 田口由香
六人部是香における王権と冥界——『顕幽順考論』をめぐって …… 末木文美士

第Ⅴ部「近代」の胎動とダイナミズム

近現代東アジアにおける王権の磁場 …… 茂木敏夫
国際法における中国の歴史的位置づけ …… 周 圓
梁啓超の自然法思想の「発見」 …… 李 暁 東
高橋亨の朝鮮思想史学小考 …… 権 純哲
近代国家医療体制の構築をめざして
——近代中国における中、西洋医学論争をめぐって—— …… 李 梁
現代中国における伝統再帰に関する一思考 …… 銭 国 紅
陶徳民氏の著書について …… 山村 奨
言語、プロトコル——標準化の視点から考察する王権と秩序 …… 新井菜穂子
跋文（伊東貴之）／執筆者一覧／英文目次

◎二松学舎大学東アジア学術総合研究所日本漢学研究センター 日本漢学研究叢刊 2

近世・近代期筆談記録が語る東アジアの医学・学術交流

二松学舎大学専任講師　ヴィグル・マティアス 編

▼A5判上製・292頁・定価7,700円 ISBN978-4-7629-6699-6 C3390　2021年11月刊

【まえがきより】（抜粋）

本書は町泉寿郎氏を代表者とする「二松学舎大学　文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成事業（略称 SRF）」の一つとして、二〇一八年一二月七日に浙江大学、二松学舎大学共催で行われた国際シンポジウム「近世東アジア地域における医師の国際移動や学術交流―医学関係の筆談記録を中心に―」に基づくものである。表題では「近世」としているが、シンポジウムにおいては一五世紀から一九世紀後半まで東アジアで行われた医学・学術交流を広い視野で考えた。また、「医師」というのは通信使、使節など外交目的として国境を渡った、あるいは貿易のネットワークを利用して東アジアで移動した知識人医師を指す。さらに知識人医師とは漢字・漢文を媒体に東アジアの伝播・受容された『黄帝内経』、『傷寒論』など中国医学古典に通じた医師のことを指す。いわゆる治療活動をしながら、学問を重んじた医師である。

本書の内容は二部に分かれている 。第一部では日本の視点から知識層医師、知識人の国際移動の意義という問いに立脚しながら、明・清国、朝鮮、そして琉球の視点から近世東アジアにおける医学・学術交流、情報収集とそのルートというテーマに即して、あわせて七章によって議論が展開されることになる。

第一章「近世期東アジアにおける知識層医師の移動の意義」では、医学関係の筆談記録についての先行研究をめぐり、知識人医師の移動を通じて東アジアにおける医学交流を再考し、特色を示す例を取り上げながら一つの見方を提示する。

第二章「筆談と近世東アジアの薬物知識の交流」では、明末から清代晩期まで日常生活のグローバルコミュニケーションのツールとして医学関係の筆談記録の内容について論じながら、朴趾源と王民皞の間に行われた問答、日韓の筆談などを主な資料として東アジアの筆談活動の中で、薬品の交流について考察する。

第三章「『答朝鮮医問』と朝鮮通信使の医学交流」では、朝鮮医師尹知微と明儒医王應遴の答辯を収録する『答朝鮮医問』（一六二二）と一七二〇年に京都で刊行された『桑韓唱和塤篪集』を比較しながら、両問答の形成とその刊行をめぐる疑問について論じる。

第四章「清医趙淞陽と日本医師の交流記録などについて」では、『唐医趙淞陽文録』、『趙淞陽医案』、『万里神交』を中心に、享保一一（一七二六）年十月九日から享保一四（一七二九）年八月二八日にわたり長崎に三年間滞在した清国の医師趙淞陽の活動調査をしながら、趙淞陽の医療業績や交友事情を明らかにする。

第五章「明治漢方医家と清末文人の筆談」では、現在までにあまり研究者の関心を惹くこともなかった明治期の清国公使館員と日本人との医学関係筆談の状況と、明治一五年に行われた『清客筆話』の形成を明らかにしながら、その内容について考察する。

第六章「近世幕薩琉清の交流ルート再考」では、江戸幕府と薩摩藩は琉球を通じて、清国と直接的な学術交流をも求めたが、自国の自主性を保つために琉球にとってはその要求にこたえるのは難しかったと述べ、一七世紀中期以降、清朝の通事・中央官僚を通じて、情報・商品・文物・技術などが伝達されたことを検討しながら、日薩琉清の交流ルートを明らかにする。

第七章「通信使の筆談と大陸情報収集」では、現在まで通信使研究と中国（明清）との関連性を重視されなかったという出発点から通信使筆談における政治、地理情報など中国情報収集の実態を述べな

がら、江戸幕府にとって中国北方情報収集の意義を論じ、その収集活動を考察する。
　第二部では一七世紀～一八世紀の医学交流を語る二つの筆談を翻刻し紹介する。一六三六年と一七四八年に通信使の一員として来日した朝鮮医師と日本医師の面談の記録であり、互いの医療文化について何の関心を持ち、どのような医学・学術交流が行われていたかを伺うことができる。一一二年にわたって日本に派遣された通信使であり、時代背景の影響で問答の内容の変遷も興味深い。
　本書は日本、中国、韓国、台湾やフランスの研究者による、さまざまな観点から知識層医師・知識人の国際移動による一七世紀～一九世紀の東アジアで行われた医学・学術交流を再考する試みである。この試みがどれほど成功したかは読者に委ねるしかないが、本書により近世・近代初期における医学・学術的知識の流通に関する理解を深めて、新しい知見を加えることができれば幸いである。

【内容目次】

まえがき（ヴィグル・マティアス）

第Ⅰ部　知識人の国際移動による医学・学術交流

第一章　近世期東アジアにおける知識層医師の移動の意義 …… ヴィグル・マティアス

第二章　筆談と近世東アジアの薬物知識の交流 …… 陳　　明

第三章　『答朝鮮医問』と朝鮮通信使の医学交流」 …… 咸 晟 植

第四章　清医趙淞陽と日本医師の交流記録などについて …… 郭 秀 梅

第五章　明治漢方医家と清末文人の筆談 …… 町 泉寿郎

第六章　近世幕薩琉清の交流ルート再考 …… 沈 玉 慧

第七章　通信使の筆談と大陸情報収集 …… 程 永 超

第Ⅱ部　医学関係の筆談記録

史料(1)『朝鮮人筆談』（解説：ヴィグル・マティアス、翻刻：ヴィグル・マティアス・町泉寿郎）

史料(2)『朝鮮筆談』（解説：ヴィグル・マティアス、翻刻：ヴィグル・マティアス・町泉寿郎）

索　引／著者紹介

****

◎二松学舎大学東アジア学術総合研究所日本漢学研究センター 日本漢学研究叢刊1

レオン・ド・ロニーと19世紀欧州東洋学——旧蔵漢籍の目録と研究——

町　泉寿郎　編

▼A5 判・420 頁・定価 11,000 円 ISBN978-4-7629-6677-4 C3090 2021 年 3 月刊

【内容目次】

「日本漢学研究叢刊」発刊の辞 …… 町　泉寿郎

フランス日本学とレオン・ド・ロニー——その日本学専門家としての貢献 Willy F. Vande Walle

レオン・ド・ロニー旧蔵資料からみる 19 世紀日本 …… 町　泉寿郎

近代ヨーロッパと中国学——レオン・ド・ロニーの漢籍コレクションを通して—— …… 牧角悦子

レオン・ド・ロニー旧蔵漢籍の書入れについて …… 田中正樹

イエズス会士によるヨーロッパへの『孟子』紹介と翻訳の実情 …… 井川義次

レオン・ド・ロニー旧蔵漢籍とその周辺 …… 清水信子

レオン・ド・ロニー関連年表 Le catalogue du fonds chinois de la bibliotheque de Leon de Rosny …… Nobuko shimizu et Mathias Vigouroux

Index／索引／分類別漢籍数

リール市立図書館所蔵レオン・ド・ロニー旧蔵漢籍目録 …… 清水信子

◎日中漢文學の相方向理解の實像を追う！　〈南山大學學術叢書〉

清代における日本漢文學の受容

南山大學教授 蔡　毅 著

▼A5判上製・398頁・ 定価11,000円 ISBN978-4-7629-6712-2 C3091　2022年3月刊

【序章—日中文化交流の「逆輸入」—より】

日本の漢文學の西傳、すなわち中國への「逆輸入」は、筆者が長年の間關心を抱いている課題である。今日に至るまで、凡そ日中の漢文學の交流について語る者であれば、例外無く中國古典文學の日本漢文學に對する壓倒的な影響に注目しているが、反對に日本漢文學もまた中國に傳わり、大なり小なり反響を呼んでいたというのに、こちらについては誰一人として顧みない。理由は明白である。このような「逆輸入」的な日中漢文學の往來は、その數量についていえば中國から日本への流れに對し比べ物にならないほど少數であり、ましてや中國の文壇に何らかの影響を與えたこともなく、時に誰かが話にあげたとしても多くは好奇の視線でもって話の種にしているのみであり、それに對して深い歷史的考察や文化の比較を行うわけではなかった。まさにこの故に、この課題が冷遇され、棚上げされてきたのも、理の當然のごとく思える。

しかしながら、史籍を紐解けば、遣唐使より近代に至るまで、日本漢文學の西傳の軌跡は、目につくもの全てがそうであるとは言えないまでも所々に顔をのぞかせており、絲のように途切れず續いている。特に明治以後日中文化交流の立場の逆轉によって、日本漢詩が中國詩人に影響を與えたことも考えられる。よって筆者のこの一見周緣的で主流とは言えない研究課題は、きっと大風呂敷ではなく、一定の學術價値を持つであろう。

【主要目次】

序　章——日中文化交流の「逆輸入」——
第一部　間接交流の時期——江戸時代
　第一章　長崎に來航した清客の活躍——賴山陽の『日本樂府』——
　　〔長崎清客書簡の發見／清客江芸閣と沈萍香／江芸閣と賴山陽の『日本樂府』／『日本樂府』を沈萍香から翁廣平へ／賴山陽の葛藤〕
　第二章　漂流民の意外な貢獻——『歸帆送別之詩』——
　　〔寶力丸川沙漂流事故の經緯／日中詩文贈答の意義／海を隔てた華夷思想の戰い〕
第二部　直接交流の時期——明治時代
　第一章　來航者の日本漢詩との出會い
　　第一節　黃遵憲と明治の「文明開化新詩」
　　〔黃遵憲が見た日本漢詩／黃遵憲と明治漢詩人の交流／黃遵憲と明治「文明開化新詩」〕
　　第二節　葉煒と『扶桑驪唱集』『煮藥漫抄』　〔『扶桑驪唱集』について／『煮藥漫抄』について〕
　　第三節　陳曼壽と『日本同人詩選』　〔陳曼壽その人／陳曼壽の來日／『日本同人詩選』〕
　　第四節　梁啓超と明治の「漢詩改革」
　　〔「詩界革命」とは／明治漢詩壇の新風／梁啓超との接點／明言を避けた原因〕
　第二章　中國での日本漢詩の受入れ
　　第一節　兪樾と『東瀛詩選』
　　〔『東瀛詩選』の成立の經緯／『東瀛詩選』の編纂の特色／『東瀛詩選』の實際の影響〕
　　第二節　潘飛聲と『在山泉詩話』　〔石黑忠德／井上哲次郎／三木貞一／日下部鳴鶴／北條直／金井雄／山崎謙／遠田爲之／永井久一郎／『歸省贈言』所收の詩人たち／姚文棟と唱和した詩人たち〕
　　第三節　李長榮と『海東唱酬集』
　　〔李長榮と八戸順叔／『海東唱酬集』の編纂／餘論『海東唱酬集』未完の無念〕
第三部　漢文名作の西傳——賴山陽の『日本外史』——
　　〔成書の過程／中國への輸出／錢懌の評點／諸家の論贊〕
第四部　日本人が編纂した中國典籍「補遺」の還流——市河寬齋の『全唐詩逸』——
　　〔『全唐詩逸』の編纂／『全唐詩逸』の西傳／『全唐詩逸』の影響〕
　終　章——文化交流の異次元——　　あとがき／索引

◎日本と中国の歴史息づく文学空間に分け入り散策する

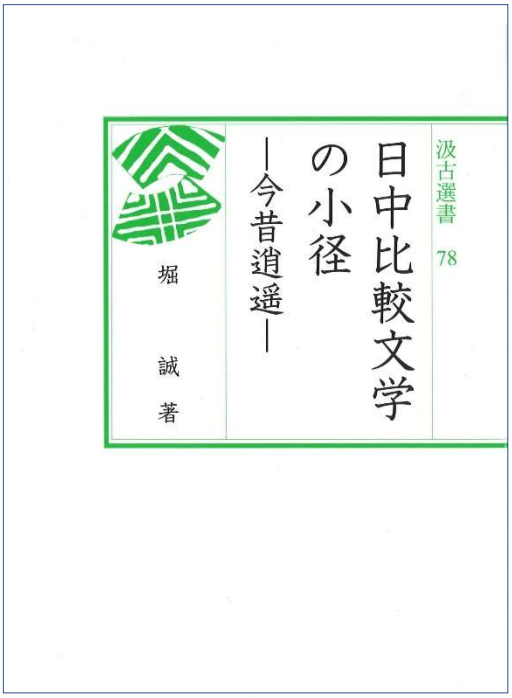
日中比較文学の小径（こみち）

――今昔逍遥――

早稲田大学教授 堀　誠 著

▼四六判・266頁・定価4,180円 ISBN978-4-7629-5078-0 C3390 2021年5月刊 汲古選書78

長年中国文学ならびに日中比較文学を研究してきた著者による日中古今の文学文化の「散策」をテーマとする論考16篇を収める。三十年来、度々訪れてきた馴染み深い地・西安にまつわる「西安聞見抄」8篇を含む。「散策の合間に仄見えたシーンの一齣こそ、見目・味わいの豊かな〝五目（娯目）飯〟よろしく、目を、耳を、舌を、心を今なお娯しみ和ませてくれる」（「散策の空間－西安聞見抄（1）－」より）。著者自ら撮影した現地写真も多数収録。



【内容目次】

蜘蛛のいろいろ――日中文芸雑考――
日中の俗信と文学――比較文学の一視点――
喜鵲の歌――「澤田先生」史談――
日中「竹馬」小考
日中「鶏鳴」故事考
「蝗」をめぐる日中比較文化的考察――「虫供養」と「駆蝗」など――
馮夢龍と中島敦の眼――『太平広記鈔』「李徴」と小説「山月記」の新生術――
日本の寒山寺――張継「楓橋夜泊」詩碑に寄せて――
散策の空間――西安聞見抄（１）――
文字の散策――西安聞見抄（２）――
玄奘西往東来――西安聞見抄（３）――
「胡馬」札記――西安聞見抄（４）――
空海点綴――西安聞見抄（５）――
終南藍田散策――西安聞見抄（６）――
輞川の記――西安聞見抄（７）――
内外偶見随記――西安聞見抄（８）――
初出一覧／あとがき／索引（書名・作品名、人名、事項）

◎「雪辱」「臥薪嘗胆」「呉越同舟」で知られる〈呉越説話〉の日本での受容の諸相を明らかにする！

日本における〈呉越説話〉の展開

中国・河南科技大学専任講師　程国興　著

▼A5判上製・408頁・定価11,000円 ISBN978-4-7629-3675-3 C3093　2022年5月刊

【緒言より】（抜粋）

中日両国で広く知られている「雪恥」の物語の一つは呉越合戦の話、つまり〈呉越説話〉である。今の新聞やニュースでよく見かける熟語「臥薪嘗胆」「呉越同舟」などはこの話に由来するものである。

本書で考察する日本の〈呉越説話〉の大要は、会稽山の戦い（夫椒の戦い）で敗北した越王勾践が、幾多の苦難を超えて、最終的に呉王夫差に勝利するというものである。これに多少の肉付けをするならば、越王勾践には范蠡・太夫種という家臣がいて勾践に諫言し、もう一方の呉王夫差にも伍子胥・太宰嚭という家臣がいて諫言したり敵に内通したりするという人間模様が繰り広げられている。その中で、越王勾践の愛妾である西施が呉王夫差に一時的に奪われるという一幕もある。このような〈呉越説話〉の日本的な展開の様相および特質を明らかにするのが、本書の目的である。

日本の古典文学を古代から近世まで通覧してみたとき、〈呉越説話〉は同程度ずつ徐々に変容しているわけではなさそうである。当然、展開には、いくつかの節目があったはずだ。大きく変容する時期と、そうでない時期があるということだ。（中略）そのような観点から、日本の〈呉越説話〉の展開を概観してみた場合、大きな節目となるのは、間違いなく『太平記』巻四「備後三郎高徳事　付呉越軍事」である。この話は、日本において〈呉越説話〉がまとまった最初の形であるとされている。

日本の〈呉越説話〉の展開において『太平記』所収話をこのように位置づけるとすると、『太平記』以前はどうであったのか、あるいは『太平記』以降はどのように変容していったのか、という問題の立て方をすることになる。このような考え方から、第一章では『太平記』以前の呉越戦争関係の章句も含めて、全体的な展開の様相を通覧する。そして、第二章以降で、『太平記』の〈呉越説話〉がどのようにして成立したのか、『太平記』と仮名本『曾我物語』の〈呉越説話〉の関係はどのようなものか、『太平記』と『三国伝記』所収〈呉越説話〉の関係はどうであるか。近世に入って成立した御伽草子系の「呉越」絵巻物の位相はどうであるか。また、読本『通俗呉越軍談』と中国明清小説の関係はどうか、浄瑠璃『呉越軍談』はどのような性格をもつものかなど、細部について述べることとする。

【内容目次】

緒　言

第一章　日本の古典文学における呉越合戦関係の章句

呉国と越国が対峙する構図／「会稽」「越王勾践」「西施」「姑蘇台」の変容と展開／范蠡像（陶朱公像）の変容と展開／伍子胥について―日中比較文学上の問題―／勾践石淋譚の展開／〈補説〉スペンサー本前半部のみに関わる中国古代史部分の引用例

第二章　〈呉越説話〉の形成――『太平記』への道のり――

構造の簡略化―『史記』『呉越春秋』との比較から―／汚物嘗舐譚にみる『太平記』系〈石淋ばなし〉の特異性／〈三不可〉にみる『太平記』系范蠡像の特異性／范蠡の〈魚書〉の存否に

みる変容／呉王夫差像の二重性から―〈呉越説話〉の内部亀裂―／〈勾践帰国〉の理由の二重化、〈西施献呈〉の理由の三重化／『太平記』〈呉越説話〉における西施の中心性

第三章 『三国伝記』〈呉越戦事〉の位相――『太平記』との比較研究――

『三国伝記』〈呉越戦事〉と『太平記』巻四〈呉越軍事〉の比較／『三国伝記』〈呉越戦事〉の趣向―『太平記』との比較―

第四章 仮名本『曾我物語』の〈呉越説話〉論――『太平記』との比較研究――

仮名本『曾我物語』と『太平記』との関係／『太平記』から照射する仮名本『曾我物語』の性格／仮名本『曾我物語』の人物像改変の方法／両作品の主題の相違

第五章 『平家物語』後出本における〈呉越説話〉論

『源平盛衰記』の〈呉越説話〉の位相／長門本『平家物語』の〈呉越説話〉の特異性／中日貿易交流における「呉越」

第六章 『太平記秘伝理尽鈔』の「呉越戦い」評論

呉越君臣論／会稽の戦い

第七章 御伽草子『呉越物語』論――『太平記』との比較研究――

Ａ・Ｂ両本比較の前提／Ｂ（国学院本）のほうが『太平記』に近い例―Ａ（光慶本）の性格―／Ａ（光慶本）のほうが『太平記』に近い例―Ｂ（国学院本）の性格―／御伽草子『呉越物語』と『太平記』との関係

第八章 スペンサー本『呉越物語』の位相

前半部１～６と中国の典籍／前半部７～16と『史記』『呉越春秋』／後半部と『史記』／『史記』に依拠したための改変／枠組み部分の日本的なもの／補論

第九章 〈范蠡後日譚〉についての考察

范蠡後日譚の概要と受容／『新可笑記』「炭焼きも火宅の合点」と『史記』との比較

第一〇章 『通俗呉越軍談』の位相

『通俗呉越軍談』の概要／『通俗呉越軍談』の方法／『通俗呉越軍談』の位相

第一一章 浄瑠璃『呉越軍談』の構造

先行作品との共通点・相違点／舞台芸能的性格の表出／場面主義の傾向／物語展開の工夫―結果論的視座との闘い―／人物形象の特徴／テーマ性の希薄化／東施像の源流

第一二章 〈呉越説話〉のゆくえ――「臥薪嘗胆」「呉越同舟」の熟語化――

臥薪嘗胆／呉越同舟

結　語

付録１　『太平記』巻四「呉越軍事」の対校

付録２　『太平記』巻四「呉越軍事」の中国語訳

付録３　スペンサー本『呉越物語』釈文

初出一覧

索　引（Ⅰ人名・Ⅱ地名・Ⅲ書名・Ⅳ成語・Ⅴ研究者名・Ⅵその他）

◎「古典中國」において『論語』はどのように形成されたのか、「古注」の特徴と共に明らかにする

『論語』の形成と古注の展開

早稲田大学教授 渡邉義浩 著

▼A5判上製・248頁・定価8,250円 ISBN978-4-7629-6672-9 C3010 2021年3月刊

【序論より】（抜粋）

『論語』は、現在に至るまで、東アジアで最も読まれてきた古典である。現在、『論語』は、多く日常倫理の規範を示す道徳の書として読まれている。だが本書は、『論語』の道徳性や孔子の思想を解明しようとするものではない。「古典中國」と呼ぶべき秦漢帝國から隋唐帝國までの中国において、『論語』がどのように形成され、「古注」と総称される注釈がどのような特徴をそれぞれ持つのかを明らかにするものである。そこには、「古典中國」の構成員が、自らの国家と社会のあり方をいかなる拠り所に基づいて共有していたのか、という問題関心がある。むろん、拠り所の中心は、「五經」と総称される儒教の經書とその解釈であり、それぞれの制度や国政がいかなる經義に基づき正統化されたかについては、幾許かの成果を世に問うてきた。そうした中で、「五經」に含まれない『論語』が、それなりの重要性を持って「古典中國」の拠り所になっていることに気づいた。

『論語』の形成については、すでに出土している『齊論』の公表を待てば、さらなる新しい見解を導き出し得る可能性もある。しかし、それが未公開である以上、伝世文献によってここまで推測可能であると論証しておくことも、十分意義のあることであろう。

【主要目次】

序　論

第一章　津田左右吉の中国古典研究

一、中国古典研究の方法論　二、『論語』と『孟子』の先後関係
三、出土資料を生かす津田の方法論

第二章　『史記』仲尼弟子列傳と『古論』

一、孔子は『易』を読んだのか　二、『史記』が引く孔子言行録と『魯論』系『論語』
三、弟子問と弟子解

第三章　定州『論語』と『齊論』

一、『論語』の成立過程と定州『論語』　二、『漢書』董仲舒傳所引の孔子言行録
三、『春秋繁露』所引の孔子言行録

第四章　鄭玄『論語注』の特徴

一、解釈の差異　二、総合性と体系性　三、禮を以て論語を説く

第五章　何晏『論語集解』の特徴

一、「一」・「元」と「道」・「無」　二、「道」の実現　三、無為の治と禪讓

第六章　皇侃『論語義疏』の特徴

一、梁の武帝と平等　二、皇侃と『論語義疏』　三、性三品説と平等

第七章　邢昺『論語注疏』の特徴

一、皇侃と劉炫　二、佛教的解釈と玄學的解釈　三、注に寄り添う

結　論

附章一　中国の津田左右吉評価と日中の異別化

一　中華民國期における津田左右吉評価　二、津田の中国蔑視と「近代主義」
三、戦後中国の津田評価　四、異別化と普遍化

附章二　儒教に見る形と心――喪服と孝心――

一、喪服の形と心　二、恩愛と孝心　三、孝心の形骸化と反発　四、形と心

文献表／あとがき

◎『全譯三國志』 第三回配本 第七冊「呉書」(一)刊行なる！ —全巻予約受付中—

全譯三國志

本巻八冊
別 巻 一

渡邉義浩 主編

第一回配本 第六冊 蜀書 ▼B5 判・660 頁・定価 13,200 円 2019 年 11 月刊
ISBN978-4-7629-6646-0 C3322

第二回配本 第一冊 魏書（一） ▼B5 判・660 頁・定価 13,200 円 2021 年 6 月刊
ISBN978-4-7629-6641-5 C3322

第三回配本 第七冊 呉書（一） ▼B5 判・644 頁・定価 13,200 円 2022 年 2 月刊
ISBN978-4-7629-6647-7 C3322

【「呉書（一）」凡例より】（抜粋）

一、本書は、日本の静嘉堂文庫が所蔵する、南宋初期刊南宋前期修『三国志』中より『呉書』だけを取り出した専刻本（以下、専刻本と略称）を底本とする。専刻本は、北宋咸平刊本の原姿を伝える唯一の刊本である。

二、専刻本は、米山寅太郎先生の解題を付し、汲古書院から一九八八年に影印されている。専刻本は、裴松之以外の注（陳寿の自注ともされる）を割注で挿入するが、本書はそれを小字で表した。また、専刻本は、裴松之注も割注で挿入するが、本書は割注の位置に［ ］に数字を附した記号を入れ、裴松之注は、［ ］に数字を附した記号の後に別に示した。

三、『三国志』の版本には、百衲本のほか明版もある。中華書局より一九五九年に出版された標点校勘本は、百衲本を底本に、明の汲古閣本、明の北監本を校刻した清の武英殿本、明の南監本を校印した金陵活字本により校勘をしている。『三国志版本薈萃』（巴蜀書社、二〇一六年）により、諸版本を確認したうえで中華書局本の校勘を参照し、また盧弼『三国志集解』などの成果も取り入れ、底本とした専刻本に校勘を施した。

四、本書は、かかる操作を経たうえで句読点を施した原文を掲げ、書き下し文に（ ）で示した補注を附した後、現代文に翻訳した。

五、補注で取り上げた事項に関しては、巻末に索引を附した。

【内容目次】

第一冊 魏書(一) 解題／武帝紀第一／文帝紀第二／明帝紀第三／三少帝紀第四／上三國志注表／補注索引

第二冊 魏書(二) 后妃傳第五／董二袁劉傳第六／呂布張邈臧洪傳第七／二公孫陶四張傳第八／補注索引

第三冊 魏書(三) 諸夏侯曹傳第九／荀彧荀攸賈詡傳第十／袁張涼國田王邴管傳第十一／崔毛徐何邢鮑司馬傳第十二／鍾繇華歆王朗傳第十三／程郭董劉蔣劉傳第十四／補注索引

第四冊 魏書(四) 劉司馬梁張温賈傳第十五／任蘇杜鄭倉傳第十六／張楽于張徐傳第十七／二李臧文呂許典二龐閻傳第十八／任城陳蕭王傳第十九／武文世王公傳第二十／王衛二劉傳第二十一／桓二陳徐衛盧傳第二十二／和常楊杜趙裴傳第二十三／補注索引

第五冊 魏書(五) 韓崔高孫王傳第二十四／辛毗楊阜高堂隆傳第二十五／滿田牽郭傳第二十六／徐胡二王傳第二十七／王毌丘諸葛鄧鍾傳第二十八／方技傳第二十九／烏丸鮮卑東夷傳第三十／補注索引

第六冊 蜀書 劉二牧傳第一／先主傳第二／後主傳第三／二主妃子傳第四／諸葛亮傳第五／関張馬黄趙傳第六／龐統法正傳第七／許麋孫簡伊秦傳第八／董劉馬陳董呂傳第九／劉彭廖李劉魏楊傳第十／霍王向張楊費傳第十一／杜周杜許孟来尹李譙郤傳第十二／黄李呂馬王張傳第十三／蔣琬費禕姜維傳第十四／鄧張宗楊傳第十五／補注索引

第七冊 呉書(一) 孫破虜討逆傳第一／呉主傳第二／三嗣主傳第三／劉繇太史慈士燮傳第四／妃嬪傳第五／宗室傳第六／張顧諸葛歩傳第七／張厳程闞薛傳第八／周瑜魯粛呂蒙傳第九／程黄韓蔣周陳董甘淩徐潘丁傳第十／補注索引

第八冊 呉書(二) 朱治朱然呂範朱桓傳第十一／虞陸張駱陸吾朱傳第十二／陸遜傳第十三／呉主五子傳第十四／賀全呂周鍾離傳第十五／潘濬陸凱傳第十六／是儀胡綜傳第十七／呉範劉惇趙達傳第十八／諸葛滕二孫濮陽傳第十九／王楼賀韋華傳第二十／補注索引

別巻 三國志研究備要

※B5判上製・各巻定価9,900円～16,500円 年一～二冊刊行予定 **第四回配本「魏書」(二)**

汲古書院 101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-3 高岡ビル 4F TEL03-3265-9764 FAX03-3222-1845

書　名 ※書名をクリックすれば案内紹介をご覧いただけます。	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
レオン・ド・ロニーと19世紀欧州東洋学 ―旧蔵漢籍の目録と研究―	日本漢学研究叢刊1	町　泉寿郎	978-4-7629-6677-4 A5判・420頁	2021.03 8,800
近世・近代期筆談記録が語る東アジアの 医学・学術交流	日本漢学研究叢刊2	ヴィグル・マティアス	978-4-7629-6699-6 A5判・292頁	2021.11 6,160
東アジアの出版と地域文化		磯部　彰	978-4-7629-2836-9 B5判・280頁	2008.03 7,040
薬の都富山の漢籍と漢学		磯部　彰	978-4-7629-3658-6 A5判・408頁	2021.06 10,560
改訂増補　漢文学者総覧		長澤規矩也 長澤孝三	978-4-7629-1224-5 A5判・674頁	2011,10 17,600
図書学辞典		長澤規矩也	978-4-7629-1129-3 新書版・222頁	2005.12 1,320
図書大概		大沼晴暉	978-4-7629-1225-2 A5判・484頁	2012.11 7,040
図説中国印刷史	汲古選書40	米山寅太郎	978-4-7629-5040-7 四六判・300頁	2005.02 3,080
和刻本漢籍分類目録　増補補正版		長澤規矩也 長澤孝三	978-4-7629-1167-5 B5判・402頁	2006.03 8,800
東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録		東京大学東洋文化研究所	978-4-7629-1039-5 A5判・2032頁	1996,01 17,087
新編 史跡足利学校所蔵古書分類目録		長澤規矩也 長澤孝三	978-4-7629-1220-7 B5判・264頁	2009.03 5,280
日本語訳中国語昔話解題目録		千野明日香 衛藤和子	 B5判・166頁	1992,01 1,709
図書寮漢籍叢考		宮内庁書陵部蔵漢籍研究会	978-4-7629-1226-9 B5判・486頁	2018.02 15,840
本邦における支那学の発達		倉石武四郎	978-4-7629-1216-0 A4判・230頁	2007.03 1,760
ああ哀しいかな－死と向かう中国文学		佐藤　保 宮尾正樹	978-4-7629-2671-6 A5判・352頁	2009.07 3,344
鳳よ鳳よ―中国文学における〈狂〉―		佐藤　保	978-4-7629-2864-2 A5判・232頁	2009.07 3,520
佯狂―古代中国人の処世術	汲古選書　62	矢嶋美都子	978-4-7629-5062-9 四六判・200頁	2013,10 2,640
対偶文学論		繁原　央	978-4-7629-9559-0 A5判・246頁	2014.04 1,584
「現実」の浮上		小松　謙	978-4-7629-2800-0 A5判・300頁	2007.01 6,160
楚辞新研究		石川三佐男	978-4-7629-2677-8 A5判・464頁	2002,12 8,360
『楚辞』と楚文化の総合的研究		大野圭介	978-4-7629-6521-0 B5判・404頁	2014.02 7,920
詩経Ⅱ古代歌謡における愛の表現技法		加納喜光	978-4-7629-2763-8 A5判・326頁	2006.06 2,640
詩経研究文献目録		村山吉廣 江口尚純	978-4-7629-1134-7 B5判・286頁	1992,01 4,272
『毛詩』の文献学的研究		藪　敏裕	978-4-7629-6658-3 A5判・540頁	2020.02 11,440
諸子百家の文芸観		張　小康 釜谷武志	978-4-7629-2318-0 B6判・234頁	1985,07 2,112

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
古詩紀　全3巻・別巻1（既刊3冊）				
①　巻1～44		横山　弘 齋藤希史	978-4-7629-2700-3 B5判・494頁	2005, 03 14, 080
②　巻45～107		横山　弘 齋藤希史	978-4-7629-2701-0 B5判・552頁	2005, 09 14, 080
③　巻108～130		横山　弘 齋藤希史	978-4-7629-2702-7 B5判・518頁	2006. 06 14, 080
古詩類苑　全3巻　【完結】				
①　巻1～64 （天・歳時・地・山・水・京都ほか）		中島敏夫	978-4-7629-2433-0 B5判・530頁	1996. 03 11, 106
②　巻65～130 （人・儒・産業・釋・道・宮室ほか）		中島敏夫	978-4-7629-2434-7 B5判・530頁	1996. 03 11, 106
別　古詩類苑（作者別詩題索引）		中島敏夫	978-4-7629-2435-4 B5判・166頁	1996. 01 3, 960
文選李善注所引尚書孜証		斯波六郎 小尾効一	978-4-7629-2227-5 A5判・702頁	1982, 01 7, 040
書法美学の研究		河内利治	978-4-7629-2726-3 A5判・350頁	2004, 06 8, 800
中国神仙詩の研究		金　秀雄	978-4-7629-2820-8 A5判・368頁	2008. 01 8, 800
陸賈『新語』の研究	汲古選書29	福井重雅	978-4-7629-5029-2 四六判・260頁	2002, 03 2, 640
中国のユートピアと「均の理念」	汲古選書28	山田勝芳	978-4-7629-5028-5 四六判・260頁	2001, 08 2, 640
「両漢研究」四部作　【完結】				
両漢の儒教と政治権力		渡邉義浩	978-4-7629-2747-8 A5判・336頁	2005, 09 品切
両漢における易と三礼		渡邉義浩	978-4-7629-2774-4 A5判・500頁	2006. 09 8, 800
両漢における詩と三伝		渡邉義浩	978-4-7629-2838-3 A5判・474頁	2007. 12 8, 800
両漢儒教の新研究		渡邉義浩	978-4-7629-2850-5 A5判・496頁	2009. 01 8, 800
全譯　後漢書　全19冊　【完結】				
①　本紀（一）	全譯後漢書1	渡邉義浩	978-4-7629-2704-1 B5判・466頁	2001, 12 8, 800
②　本紀（二）	全譯後漢書2	渡邉義浩	978-4-7629-2705-8 B5判・508頁	2004, 01 8, 800
③　律暦志	全譯後漢書3	渡邉義浩	978-4-7629-2706-5 B5判・266頁	2004, 03 7, 920
④　禮儀志	全譯後漢書4	渡邉義浩	978-4-7629-2707-2 B5判・278頁	2002, 10 7, 920
⑤　祭祀志	全譯後漢書5	渡邉義浩	978-4-7629-2708-9 B5判・212頁	2012. 09 7, 920
⑥　天文志	全譯後漢書6	渡邉義浩	978-4-7629-2709-6 B5判・162頁	2015. 12 7, 920

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
⑦　五行志	全譯後漢書7	渡邉義浩	978-4-7629-2710-2 B5判・332頁	2012.12 8,800
⑧　郡國志	全譯後漢書8	渡邉義浩	978-4-7629-2711-9 B5判・396頁	2006.02 8,800
⑨　百官志	全譯後漢書9	渡邉義浩	978-4-7629-2712-6 B5判・238頁	2013,10 7,920
⑩　輿服志	全譯後漢書10	渡邉義浩	978-4-7629-2713-3 B5判・180頁	2015.03 7,920
⑪　列傳（一）	全譯後漢書11	渡邉義浩	978-4-7629-2714-0 B5判・466頁	2004,10 8,800
⑫　列傳（二）	全譯後漢書12	渡邉義浩	978-4-7629-2715-7 B5判・824頁	2007,10 10,560
⑬　列傳（三）	全譯後漢書13	渡邉義浩	978-4-7629-2716-4 B5判・766頁	2011.05 10,560
⑭　列傳（四）	全譯後漢書14	渡邉義浩	978-4-7629-2717-1 B5判・716頁	2005,12 8,800
⑮　列傳（五）	全譯後漢書15	渡邉義浩	978-4-7629-2718-8 B5判・860頁	2008.11 11,440
⑯　列傳（六）	全譯後漢書16	渡邉義浩	978-4-7629-2719-5 B5判・754頁	2006.05 8,800
⑰　列傳（七）	全譯後漢書17	渡邉義浩	978-4-7629-2720-1 B5判・940頁	2015.08 13,200
⑱　列傳（八）	全譯後漢書18	渡邉義浩	978-4-7629-2721-8 B5判・820頁	2016.09 10,560
別冊 後漢書研究便覧(年表・官爵辞典・人	全譯後漢書別	渡邉義浩	978-4-7629-2722-5 B5判・288頁	2016.12 7,920
「古典中國」研究（既刊4冊）				
「古典中國」の形成と王莽		渡邉義浩	978-4-7629-6638-5 A5判・412頁	2019.08 7,480
「古典中國」における文學と儒教		渡邉義浩	978-4-7629-6546-3 A5判・344頁	2015.04 7,040
「古典中國」における小説と儒教		渡邉義浩	978-4-7629-6592-0 A5判・312頁	2017.05 6,600
「古典中國」における史学と儒教		渡邉義浩	978-4-7629-6703-0 A5判・756頁	2022.06 10,560
後漢における「儒教国家」の成立		渡邉義浩	978-4-7629-2865-9 A5判・312頁	2009.03 7,040
三國志よりみた邪馬臺國		渡邉義浩	978-4-7629-6571-5 A5判・368頁	2016.04 7,040
英雄たちの「志」三国志の魅力		渡邉義浩	978-4-7629-6541-8 A5判・228頁	2015.04 1,760
三國政権の構造と「名士」増補版		渡邉義浩	978-4-7629-6673-6 A5判・772頁	2020.12 10,560
西晋「儒教国家」と貴族制		渡邉義浩	978-4-7629-2882-6 A5判・620頁	2010,10 13,200
全譯顔氏家訓		渡邉義浩	978-4-7629-6624-8 B5判・368頁	2018.11 8,360
韋昭研究		髙橋康浩	978-4-7629-2965-6 A5判・288頁	2011.07 5,280

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
曹操高陵の発見とその意義		愛媛大学東アジア古代鉄文化センター	978-4-7629-2890-1 A5判・170頁	2011.03 2,640
全譯　三国志　全9冊　（既刊3冊）				
①　魏書（一）	全譯三國志1	渡邉義浩	978-4-7629-6641-5 B5判・660頁	2021.06 10,560
②　魏書（二）	全譯三國志2	渡邉義浩	 B5判・	
⑥　蜀書	全譯三國志6	渡邉義浩	978-4-7629-6646-0 B5判・660頁	2019.11 10,560
⑦　呉書（一）	全譯三國志7	渡邉義浩	978-4-7629-6647-7 B5判・644頁	2022.02 10,560
狩野直禎先生米寿記念三国志論集		三国志学会	978-4-7629-9564-4 A5判・454頁	2016.09 7,040
狩野直禎先生追悼三国志論集		三国志学会	978-4-7629-9569-9 A5判・388頁	2019.09 7,040
林田慎之助博士傘寿記念三国志論集		三国志学会	978-4-7629-9555-2 A5判・548頁	2012,10 7,040
日中学者中国古代史論壇論文集（既刊6冊）				
①　魏晋南北朝における貴族制の形成と三教・文学		渡邉義浩	978-4-7629-2969-4 B5判・336頁	2011.09 10,560
②　中国新出資料学の展開		渡邉義浩	978-4-7629-6510-4 B5判・326頁	2013.08 10,560
③　中国史の時代区分の現在		渡邉義浩	978-4-7629-6554-8 B5判・472頁	2015.08 11,440
④　中国史学の方法論		渡邉義浩	978-4-7629-6594-4 B5判・316頁	2017.05 10,560
⑤　学際化する中国学		渡邉義浩	978-4-7629-6633-0 B5判・320頁	2019.06 10,560
⑥　中国文化の統一性と多様性		渡邉義浩	978-4-7629-6713-9 A5判・552頁	2022.03 10,560
経国と文章―漢魏六朝文学論―		牧角悦子	978-4-7629-6617-0 A5判・384頁	2018.06 8,800
建安文学の研究		福山泰男	978-4-7629-2979-3 A5判・408頁	2012.03 9,680
西晋文学論		佐竹保子	978-4-7629-2664-8 A5判・470頁	2002,02 8,360
詩の芸術性とはなにか	汲古選書7	佐竹保子	978-4-7629-5007-0 四六判・250頁	1993,02 2,136
西晉朝辭賦文學研究		栗山雅央	978-4-7629-6627-9 A5判・550頁	2018.12 11,440
中国古典叢林散策		中鉢雅量	978-4-7629-6616-3 A5判・210頁	2018.04 2,640
六朝書翰文の研究		福井佳夫	978-4-7629-6651-1 A5判・608頁	2020.03 13,200
六朝文評価の研究		福井佳夫	978-4-7629-6579-1 A5判・650頁	2017.01 13,200
六朝文体論		福井佳夫	978-4-7629-6520-3 A5判・664頁	2014.03 13,200

書　　名	シリーズ名	著者･編者名	ISBN 判型･頁数	刊行年月 学会価格
六朝の遊戯文学		福井佳夫	978-4-7629-2826-0 A5判・696頁	2007, 10 11, 880
中国の文章-ジャンルによる文学史	汲古選書39	福井佳夫	978-4-7629-5039-1 四六判・338頁	2003, 10 3, 520
中国文章論　六朝麗指		古田敬一 福井佳夫	978-4-7629-2377-7 A5判・502頁	1990, 03 10, 252
六朝寒門文人鮑照の研究		土屋　聡	978-4-7629-2875-8 A5判・266頁	2013. 12 5, 280
謝霊運－孤独の山水詩人－		小尾効一	978-4-7629-2300-5 B6判・350頁	1991, 11 3, 080
真実と虚構－六朝文学	汲古選書13	小尾効一	978-4-7629-5013-1 四六判・350頁	1994, 08 3, 246
東晋詩訳注		長谷川滋成	978-4-7629-2475-0 A5判・604頁	1994, 05 13, 670
孫綽の研究		長谷川滋成	978-4-7629-2635-8 A5判・366頁	1999, 12 8, 360
陶淵明の精神生活	汲古選書18	長谷川滋成	978-4-7629-5018-6 四六判・300頁	1995, 07 2, 820
南朝門閥貴族と文学		佐藤正光	978-4-7629-2604-4 A5判・320頁	1997, 03 5, 126
中国文学論考（文心雕龍論）		戸田浩暁	978-4-7629-9037-3 A5判・440頁	1987, 07 7, 920
中国のアルバ－系譜の詩学－	汲古選書33	川合康三	978-4-7629-5033-9 四六判・244頁	2003, 03 2, 640
隋書経籍志詳攷		興膳　宏 川合康三	978-4-7629-2481-1 A5判・1100頁	1997, 01 21, 359
中国古代の年中行事　全5巻　【完結】				
中国古代の年中行事　①〔春〕	中国古代の年中行事1	中村裕一	978-4-7629-2856-7 A5判・800頁	2009. 01 10, 560
中国古代の年中行事　②〔夏〕	中国古代の年中行事2	中村裕一	978-4-7629-2857-4 A5判・900頁	2009, 10 10, 560
中国古代の年中行事　③〔秋〕	中国古代の年中行事3	中村裕一	978-4-7629-2858-1 A5判・848頁	2010, 10 10, 560
中国古代の年中行事　④〔冬〕	中国古代の年中行事4	中村裕一	978-4-7629-2859-8 A5判・862頁	2011. 08 10, 560
中国古代の年中行事　⑤〔補遺〕	中国古代の年中行事5	中村裕一	978-4-7629-6621-7 A5判・656頁	2018. 12 10, 560
譯注　荊楚歳時記		中村裕一	978-4-7629-6639-2 A5判・520頁	2019. 12 10, 560
荊楚歳時記新考		中村裕一	978-4-7629-6675-0 A5判・372頁	2021. 07 8, 800
聖武天皇宸翰『雑集』研究　全2巻　【完結】				
聖武天皇宸翰『雑集』「釈霊実集」研究		東京女子大学古代史研究会	978-4-7629-4208-2 A5判・720頁	2010. 02 15, 840
聖武天皇宸翰『雑集』「周趙王集」研究		安藤信廣	978-4-7629-6611-8 A5判・282頁	2018. 02 6, 600
唐詩類苑 全7巻　【完結】				

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
①　巻1～35 (天・歳時・地・山・水)	唐詩類苑1	中島敏夫	978-4-7629-2379-1 B5判・584頁	1990, 07 11, 106
②　巻36～69 (水・京都・州都・邊塞・帝王ほか)	唐詩類苑2	中島敏夫	978-4-7629-2380-7 B5判・568頁	1990, 03 11, 106
③　巻70～106（武・人）	唐詩類苑3	中島敏夫	978-4-7629-2381-4 B5判・556頁	1990, 03 11, 106
④　巻107～134(人)	唐詩類苑4	中島敏夫	978-4-7629-2382-1 B5判・540頁	1991, 01 11, 106
⑤　巻135～172 (人・儒・釋・道・居處)	唐詩類苑5	中島敏夫	978-4-7629-2383-8 B5判・506頁	1991, 03 11, 106
⑥　巻173～200 (寺観・祠廟・産業・器用・服飾他)	唐詩類苑6	中島敏夫	978-4-7629-2384-5 B5判・478頁	1991, 05 11, 106
唐詩類苑　別 (唐詩類苑研究・作者別詩題索引)	唐詩類苑別	中島敏夫	978-4-7629-2385-2 B5判・750頁	1995, 04 17, 087
勅版　白氏五妃曲		長澤規矩也	978-4-7629-1029-6 A4判・60頁	1973, 09 11, 440
たのしみを詠う陶淵明		三枝秀子	978-4-7629-2781-2 A5判・350頁	2005, 10 4, 400
韋應物詩論		黒田真美子	978-4-7629-6588-3 A5判・430頁	2017. 01 10, 560
詩僧皎然集注		愛甲・浅見 乾・齋藤	978-4-7629-6524-1 A5判・368頁	2014. 03 8, 800
孟郊研究		齋藤　茂	978-4-7629-2847-5 A5判・468頁	2008, 10 10, 560
白居易研究―閑適の詩想		埋田重夫	978-4-7629-2772-0 A5判・390頁	2006, 10 8, 800
白樂天研究―詩語と修辞		埋田重夫	978-4-7629-6656-9 A5判・530頁	2020. 02 11, 440
白居易文学論研究―伝統の継承と革新―		秋谷幸治	978-4-7629-2983-0 A5判・232頁	2012. 07 6, 600
白行簡大楽賦		飯田吉郎	978-4-7629-2487-3 A5判・246頁	1995, 11 6, 408
中国古典詩における植物描写の研究		市川桃子	978-4-7629-2808-6 A5判・468頁	2007. 02 10, 560
李白の文　全2巻　【完結】				
李白の文		市川桃子	978-4-7629-2636-5 四六判・440頁	1999, 03 品切
新編　李白の文		市川桃子	978-4-7629-2682-2 四六判・540頁	2003, 02 7, 744
杜甫の詩的葛藤と社会意識		谷口眞由実	978-4-7629-6500-5 A5判・340頁	2013. 02 8, 800
浣花渓の女校書　薛濤の詩を読む		詹　満江	978-4-7629-6710-8 A5判・528頁	2022. 02 11, 440
李商隠研究		詹　満江	978-4-7629-2746-1 A5判・360頁	2005, 12 7, 920
韓愈と柳宗元		小野四平	978-4-7629-2477-4 A5判・500頁	1995, 02 7, 689
賈島研究		愛甲弘志 加藤　聰	978-4-7629-6679-8 A5判・480頁	2021. 03 10, 560

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
李嶠と雑詠詩の研究		福田俊昭	978-4-7629-2976-2 A5判・1136頁	2012.02 19,360
唐代の文化と詩人の心		丸山　茂	978-4-7629-2874-1 A5判・662頁	2010.02 15,840
唐代伝奇を語る語り手		葉山恭江	978-4-7629-6581-4 A5判・240頁	2016.12 6,600
唐代女性詩人研究序説		横田むつみ	978-4-7629-6708-5 A5判・236頁	2022.01 6,600
銭起詩索引		田部井文雄	978-4-7629-2330-2 B5判・670頁	1986,06 10,560
十抄詩・夾注名賢十抄詩		芳村弘道	978-4-7629-2894-9 A5判・560頁	2011.03 13,200
敦煌文書にみる学校教育		伊藤美重子	978-4-7629-2853-6 A5判・380頁	2008.12 7,920
敦煌文書にみる民間文藝		伊藤美重子	978-4-7629-6705-4 A5判・330頁	2022.01 8,800
長安都市文化と朝鮮・日本		矢野建一	978-4-7629-2817-7 A5判・360頁	2007.08 6,160
『仏教』文明の東方移動		新川登亀男	978-4-7629-6503-6 A5判・296頁	2013.03 7,040
『宋書』のなかの沈約		稀代麻也子	978-4-7629-2731-7 A5判・300頁	2004.09 3,520
宋－明宗族の研究		井上　徹 遠藤隆俊	978-4-7629-2737-9 A5判・560頁	2005.03 12,320
高麗王朝の儀礼と中国		豊島悠果	978-4-7629-6585-2 A5判・360頁	2017.02 7,920
「李娃伝」と鞭―唐宋文学研究余滴―		岡本不二明	978-4-7629-6555-5 A5判・288頁	2015,10 7,040
唐宋伝奇戯劇考		岡本不二明	978-4-7629-2968-7 A5判・530頁	2011,10 11,440
古都洛陽と唐宋文人		中尾健一郎	978-4-7629-2987-8 A5判・400頁	2012,10 8,800
譯註　太平廣記　婦人部		塩　卓悟 河合晃太郎	978-4-7629-2727-0 A5判・380頁	2004,07 8,800
太平廣記研究		西尾和子	978-4-7629-6587-6 A5判・208頁	2017.03 5,280
唐宋詞研究		青山　宏	978-4-7629-2430-9 A5判・650頁	1991,09 5,980
『夷堅志』訳注　全8巻（既刊5冊）				
①「甲志上」		齋藤・田渕・福田・安田・山口	978-4-7629-6530-2 B5判・336頁	2014.07 7,040
②「甲志下」		齋藤・田渕・福田・安田・山口	978-4-7629-6531-9 B5判・362頁	2015.09 7,040
③「乙志上」		齋藤・田渕・福田・安田・山口	978-4-7629-6532-6 B5判・330頁	2017.07 7,040
④「乙志下」		齋藤・田渕・福田・安田・山口	978-4-7629-6533-3 B5判・330頁	2018,10 7,040
⑤「丙志上」		齋藤・田渕・福田・安田・山口	978-4-7629-6534-0 B5判・330頁	2020.09 7,040

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
⑥「丙志下」		齋藤・田渕・福田・安田・山口	978-47629-6535-7 B5判・320頁	2022.09 7,040
「四庫提要宋代研究」全3巻　【完結】				
四庫提要北宋五十家研究		野村鮎子 筧　文生	978-4-7629-2643-3 A5判・512頁	2000,02 8,800
四庫提要南宋五十家研究		野村鮎子 筧　文生	978-4-7629-2748-5 A5判・510頁	2006.02 8,800
四庫提要宋代總集研究		野村鮎子 筧　文生	978-4-7629-2999-1 A5判・360頁	2013.01 7,920
欧陽脩古文研究		東　英寿	978-4-7629-2676-1 A5判・450頁	2002,01 10,560
中国文人論	汲古選書12	村上哲見	978-4-7629-5012-4 四六判・270頁	1994,02 2,563
宋詞と言葉		中原健二	978-4-7629-2867-3 A5判・418頁	2009.09 8,800
詞学の用語―『詞学名詞釈義』訳注		宋詞研究会	978-4-7629-2876-5 A5判・380頁	2010.03 3,520
荘綽『雞肋編』漫談	汲古選書59	安野省三	978-4-7629-5059-9 四六判・294頁	2012.07 3,080
荘綽『雞肋編』漫談　続篇	汲古選書67	安野省三	978-4-7629-5067-4 四六判・212頁	2014.05 3,080
清眞詞・夢窗詞攷異 附索引		蘆田孝昭	 B5判・702頁	1999.03 7,920
元刊雑劇の研究（既刊3冊）				
元刊雑劇の研究		赤松・井上・金・小松・佐藤・高橋繁・高橋文・竹内・土屋・松浦	978-4-7629-2821-5 A5判・416頁	2007,10 9,680
元刊雑劇の研究（二）		赤松・井上・金・小松・佐藤・高橋繁・高橋文・竹内・土屋・松浦	978-4-7629-2895-6 A5判・280頁	2011.05 7,040
元刊雑劇の研究（三）		赤松・井上・金・小松・佐藤・高橋繁・高橋文・竹内・土屋・松浦	978-4-7629-6525-8 A5判・340頁	2014.09 8,800
烏臺筆補の研究		高橋文治	978-4-7629-2833-8 A5判・358頁	2007.12 8,360
成化本『白兎記』の研究		高橋文治	978-4-7629-2773-7 A5判・500頁	2006,10 9,680
中国文学のチチェローネ	汲古選書49	高橋文治	978-4-7629-5049-0 四六判・300頁	2009.03 3,080
中國戯曲テキストの研究		土屋育子	978-4-7629-2995-3 A5判・350頁	2013.02 7,920
中国古典芸能論考		桜木陽子	978-4-7629-6655-2 A5判・460頁	2020.02 10,560
「関帝文献」の研究		伊藤晋太郎	978-4-7629-6618-7 A5判・316頁	2018.08 7,920
三國志演義版本の研究		中川　諭	978-4-7629-2624-2 A5判・430頁	1998,12 8,800
三國志演義成立史の研究		井口千雪	978-4-7629-6567-8 A5判・496頁	2016.03 8,800
毛宗崗批評『三國志演義』の研究		仙石知子	978-4-7629-6605-7 A5判・320頁	2018.01 6,600

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
語り物「三国志」の研究		後藤裕也	978-4-7629-2988-5 A5判・328頁	2012.12 7,040
中国近世通俗文学研究		林　雅清	978-4-7629-2971-7 A5判・312頁	2011.12 6,160
包公伝説の形成と展開		阿部泰記	978-4-7629-2692-1 A5判・592頁	2004,02 10,560
宣講による民衆教化に関する研究		阿部泰記	978-4-7629-6556-2 A5判・716頁	2016.02 15,840
歸有光文学の位相		野村鮎子	978-4-7629-2862-8 A5判・486頁	2009.02 9,680
『列朝詩集小傳』研究		野村鮎子	978-4-7629-6628-6 A5判・864頁	2019.02 15,840
明人とその文学		松村　昂	978-4-7629-2863-5 A5判・280頁	2009.03 3,520
中国日用類書集成　全14巻　【完結】				
①　五車抜錦　1	中国日用類書集成1	坂出祥伸 小川陽一	978-4-7629-1201-6 A5判・654頁	1999.06 11,440
②　五車抜錦　2	中国日用類書集成2	坂出祥伸 小川陽一	978-4-7629-1202-3 A5判・658頁	1999.09 11,440
③　三台萬用正宗　1	中国日用類書集成3	坂出祥伸 小川陽一	978-4-7629-1203-0 A5判・596頁	2000.07 11,440
④　三台萬用正宗　2	中国日用類書集成4	坂出祥伸 小川陽一	978-4-7629-1204-7 A5判・664頁	2000.09 11,440
⑤　三台萬用正宗　3	中国日用類書集成5	坂出祥伸 小川陽一	978-4-7629-1205-4 A5判・710頁	2000.11 11,440
⑥　萬書淵海　1	中国日用類書集成6	坂出祥伸 小川陽一	978-4-7629-1206-1 A5判・492頁	2001.02 11,440
⑦　萬書淵海　2	中国日用類書集成7	坂出祥伸 小川陽一	978-4-7629-1207-8 A5判・498頁	2001.04 11,440
⑧　五車萬寶全書　1	中国日用類書集成8	坂出祥伸 小川陽一	978-4-7629-1208-5 A5判・514頁	2001.06 11,440
⑨　五車萬寶全書　2	中国日用類書集成9	坂出祥伸 小川陽一	978-4-7629-1209-2 A5判・440頁	2001.11 11,440
⑩　萬用正宗不求人　1	中国日用類書集成10	坂出祥伸 小川陽一	978-4-7629-1210-8 A5判・660頁	2003.05 11,440
⑪　萬用正宗不求人　2	中国日用類書集成11	坂出祥伸 小川陽一	978-4-7629-1211-5 A5判・570頁	2003.07 11,440
⑫　妙錦萬寶全書　1	中国日用類書集成12	坂出祥伸 小川陽一	978-4-7629-1212-2 A5判・538頁	2003.09 11,440
⑬　妙錦萬寶全書　2	中国日用類書集成13	坂出祥伸 小川陽一	978-4-7629-1213-9 A5判・538頁	2003.11 11,440
⑭　妙錦萬寶全書　3	中国日用類書集成14	坂出祥伸 小川陽一	978-4-7629-1214-6 A5判・468頁	2004,10 11,440
明代の遊郭事情　風月機関		小川陽一	978-4-7629-2761-4 A5判・168頁	2006.03 2,640
風月機関と明清文学		小川陽一	978-4-7629-2879-6 A5判・180頁	2010,07 3,520
明代女性の殉死と文学		小林徹行	978-4-7629-2693-8 A5判・270頁	2003,12 4,400

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
明代における詞の受容		藤田優子	978-4-7629-6663-7 A5判・330頁	2020.03 7,040
中国地方戯曲研究		田仲一成	978-4-7629-2781-7 A5判・1024頁	2006.12 22,000
明代江南戯曲研究		田仲一成	978-4-7629-6657-6 A5判・670頁	2020.02 14,960
李公子の謎	汲古選書53	佐藤文俊	978-4-7629-5053-7 四六判・248頁	2010.08 2,640
田中謙二著作集　全3巻　【完結】				
田中謙二著作集　1		田中謙二	978-4-7629-2653-2 A5判・662頁	2000.09 11,440
田中謙二著作集　2		田中謙二	978-4-7629-2654-9 A5判・466頁	2000,10 11,440
田中謙二著作集　3		田中謙二	978-4-7629-2655-6 A5判・466頁	2001.02 11,440
ことばと文学	汲古選書2	田中謙二	978-4-7629-5002-5 四六判・320頁	1993,03 2,734
中国歴史小説研究	汲古選書27	小松　謙	978-4-7629-5027-8 四六判・288頁	2000,12 2,904
中国古典演劇研究		小松　謙	978-4-7629-2663-1 A5判・358頁	2001,10 8,800
「四大奇書」の研究		小松　謙	978-4-7629-2885-7 A5判・350頁	2010.11 7,040
中国白話文学研究 ―演劇と小説の関わりから		小松　謙	978-4-7629-6577-7 A5判・370頁	2016.11 7,480
水滸伝と金瓶梅の研究		小松　謙	978-4-7629-6669-9 A5判・400頁	2020,11 8,800
詳注全訳水滸伝　全13巻（既刊2冊）				
第一巻		小松　謙	978-4-7629-6680-4 A5判・320頁	2021.06 6,160
第二巻		小松　謙	978-4-7629-6681-1 A5判・274頁	2022.04 6,160
第三巻		小松　謙	978-4-7629-6682-8 A5判・288頁	2022.07 6,160
拍案驚奇訳注（既刊3冊）				
拍案驚奇訳注①(唐賽児の乱始末記)		古田敬一	978-4-7629-2725-6 A5判・336頁	2003,03 4,840
拍案驚奇訳注②(不倫夫婦の因果応報)		古田敬一	978-4-7629-2767-6 A5判・210頁	2006.06 3,960
拍案驚奇訳注③(包公の証文裁き)		古田敬一	978-4-7629-2991-5 A5判・192頁	2012,10 3,960
明代短篇小説と戯曲の研究		大賀晶子	978-4-7629-6615-6 A5判・312頁	2018.03 7,040
明清章回小説研究		丸山浩明	978-4-7629-2680-8 A5判・350頁	2003,02 8,360
明清時代の女性と文学		合山　究	978-4-7629-2749-2 A5判・784頁	2006.02 12,320

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
明清詩文論考		松村　昂	978-4-7629-2845-1 A5判・510頁	2008, 10 11, 440
明清小説における女性像の研究		仙石知子	978-4-7629-2961-8 A5判・322頁	2011. 07 3, 520
明清文学論	汲古選書8	船津富彦	978-4-7629-5008-7 四六判・320頁	1993, 07 2, 820
冒襄と『影梅庵憶語』の研究		大木　康	978-4-7629-2871-0 A5判・540頁	2010. 02 10, 560
蘇州花街散歩　山塘街の物語		大木　康	978-4-7629-6593-7 A5判・304頁	2017. 07 3, 344
馮夢龍と明末俗文學		大木　康	978-4-7629-6609-5 A5判・588頁	2018. 01 11, 440
日中比較文学の小径―今昔逍遥―	汲古選書78	堀　誠	978-4-7629-5078-0 四六判・266頁	2021. 05 3, 344
黄道周研究		河内利治	978-4-7629-6634-7 A5判・670頁	2020. 01 14, 080
程甲乙本 紅楼夢　全4巻　【完結】				
程甲本 紅楼夢（上）		大木　康	978-4-7629-6515-9 B5判・412頁	2013. 12 8, 800
程甲本 紅楼夢（下）		大木　康	978-4-7629-6516-6 B5判・384頁	2013. 12 8, 800
程乙本 紅楼夢（上）		大木　康	978-4-7629-6517-3 B5判・482頁	2014, 10 8, 800
程乙本 紅楼夢（下）・嬌紅記		大木　康	978-4-7629-6518-0 B5判・434頁	2014, 10 8, 800
伊藤漱平著作集　全5巻　【完結】				
①　紅楼夢編（上）		伊藤漱平	978-4-7629-2751-5 A5判・540頁	2005, 10 13, 200
②　紅楼夢編（中）		伊藤漱平	978-4-7629-2752-2 A5判・393頁	2008. 06 11, 440
③　紅楼夢編（下）		伊藤漱平	978-4-7629-2753-9 A5判・500頁	2008. 09 13, 200
④「中国近世文学編」		伊藤漱平	978-4-7629-2754-6 A5判・500頁	2010. 03 13, 200
⑤「中国近現代文学他」		伊藤漱平	978-4-7629-2755-3 A5判・378頁	2011. 12 13, 200
児戯生涯	汲古選書15	伊藤漱平	978-4-7629-5015-5 四六判・380頁	1994, 10 3, 417
『紅楼夢』 ―性同一性障碍者のユートピア小説		合山　究	978-4-7629-2886-4 A5判・289頁	2010. 11 6, 160
『紅楼夢』成立の研究		船越達志	978-4-7629-2745-4 A5判・400頁	2005, 12 7, 920
曹雪芹小伝	汲古選書52	周　汝昌 小山澄夫	978-4-7629-5052-0 四六判・632頁	2010. 07 5, 280
佐伯文庫叢刊　全4巻		伊藤漱平 大塚秀高	978-4-7629-2361-6 A5判・総1920頁	1989, 02 35, 200
儒林外史論		須藤洋一	978-4-7629-2631-0 A5判・640頁	1999, 09 7, 040

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
蒲松齢手鈔 蒲氏族譜.聊齋草		藤田祐賢 八木章好	978-4-7629-2431-6 B5判・302頁	1991, 01 8, 544
小額　社会小説		太田辰夫 竹内　誠	978-4-7629-2455-2 A5判・306頁	1992, 09 4, 699
清詩総集敍録		松村　昂	978-4-7629-2884-0 A5判・626頁	2010. 11 12, 320
八旗文人伝記綜合索引		太田辰夫	978-4-7629-2311-1 B5判・116頁	1975, 08 880
清末小説叢考		樽本照雄	978-4-7629-2687-7 A5判・300頁	2003, 07 5, 280
晩清小説研叢		中島利郎	978-4-7629-2613-6 A5判・308頁	1997, 09 3, 520
呉趼人小論		松田郁子	978-4-7629-6602-6 A5判・264頁	2017. 12 6, 160
丸山　昇遺文集　全3巻　【完結】				
丸山　昇遺文集　1(1951-1967)		丸山　昇	978-4-7629-2868-0 A5判・554頁	2009. 07 品切
丸山　昇遺文集　2(1968-1980)		丸山　昇	978-4-7629-2869-7 A5判・616頁	2009. 12 8, 800
丸山　昇遺文集　3(1981-2006)		丸山　昇	978-4-7629-2870-3 A5判・788頁	2010. 12 8, 800
魯迅・文学・歴史		丸山　昇	978-4-7629-2729-4 A5判・600頁	2004, 10 12, 320
魯迅『野草』の研究		丸尾常喜	978-4-7629-2608-2 A5判・512頁	1997, 12 10, 560
魯迅増田渉師弟答問集		伊藤漱平 中島利郎	978-4-7629-2333-3 菊倍判・270頁	1986, 12 17, 600
魯迅私論		尾上兼英	978-4-7629-2357-9 B6判・280頁	1988, 03 2, 464
尾上兼英遺稿集　全2巻　【完結】				
魯迅私論外篇 〔尾上兼英遺稿集Ⅰ近現代文学篇〕		尾上兼英	978-4-7629-6636-1 四六判・266頁	2019. 08 3, 520
中國小説史研究序説 〔尾上兼英遺稿集Ⅱ古典・藝能篇〕		尾上兼英	978-4-7629-6637-8 A5判・660頁	2020. 01 12, 320
魯迅研究の現在	汲古選書3	魯迅論集編集委員会	978-4-7629-5003-2 四六判・326頁	1992, 01 2, 563
魯迅と同時代人	汲古選書4	魯迅論集編集委員会	978-4-7629-5004-9 四六判・262頁	1992, 01 2, 136
魯迅探索		中井政喜	978-4-7629-2743-0 A5判・520頁	2006. 01 10, 560
魯迅・明治日本・漱石		潘　世　聖	978-4-7629-2674-7 A5判・338頁	2002, 11 7, 920
魯迅と西洋近代文芸思潮		工藤貴正	978-4-7629-2848-2 A5判・430頁	2008, 10 7, 920
魯迅文學の淵源を探る		北岡正子	978-4-7629-6551-7 A5判・700頁	2015. 06 14, 960
文字同盟　全3巻　【完結】				

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
文字同盟　1		橋川時雄 今村与志雄	978-4-7629-2387-6 A5判・666頁	1990.06 10,252
文字同盟　2		橋川時雄 今村与志雄	978-4-7629-2388-3 A5判・708頁	1990.07 10,252
文字同盟　3		橋川時雄 今村与志雄	978-4-7629-2389-0 A5判・700頁	1991.11 10,252
転形期における中国の知識人		小谷一郎・佐治俊彦・丸山昇	978-4-7629-2627-3 A5判・578頁	1999,11 8,360
近代の精神と中国現代文学		伊藤虎丸	978-4-7629-2818-5 A5判・552頁	2007,10 9,680
中華民国期の豊子愷		大野公賀	978-4-7629-2996-0 A5判・360頁	2013.02 7,920
日本と中国における西洋文化摂取論		伊原澤周	978-4-7629-2637-2 A5判・436頁	1999,05 品切
蕭紅研究　全2巻　【完結】				
蕭紅研究－その生涯と作品世界		平石淑子	978-4-7629-2834-5 B5判・346頁	2008.02 7,920
蕭紅作品及び関係資料目録		平石淑子	978-4-7629-1175-0 B5判・210頁	2003,01 2,200
沈従文-人と作品		小島久代	978-4-7629-2611-2 四六判・430頁	1997,06 3,344
一九二〇年代中国文芸批評論		中井政喜	978-4-7629-2742-3 A5判・420頁	2005,09 9,680
一九三〇年代中国人日本留学生文学・芸術活動史　全2巻　【完結】				
一九三〇年代中国人日本留学生 文学・芸術活動史		小谷一郎	978-4-7629-2880-2 A5判・292頁	2010.11 6,160
一九三〇年代後期中国人日本留学生 文学・芸術活動史		小谷一郎	978-4-7629-2967-0 A5判・272頁	2011.12 6,160
創造社研究―創造社と日本		小谷一郎	978-4-7629-6513-5 A5判・372頁	2013.12 7,040
九十年代文化批評		桑島由美子	978-4-7629-6586-9 A5判・290頁	2017.03 7,920
茅盾研究		桑島由美子	978-4-7629-2735-5 A5判・340頁	2005.02 6,600
茅盾小説論―幻想と現実		是永　駿	978-4-7629-2975-5 A5判・296頁	2012.01 5,280
「作家」茅盾論 ―二十世紀中国小説の世界認識		白井重範	978-4-7629-6506-7 A5判・328頁	2013.07 7,040
懺悔と越境―中国現代文学史研究―		坂井洋史	978-4-7629-2740-9 A5判・520頁	2005,09 9,680
逸脱と啓示　中国現代作家研究		坂井洋史	978-4-7629-2990-8 A5判・470頁	2012.12 9,680
中国現代文学の言語的展開と魯迅		阿部幹雄	978-4-7629-6529-6 A5判・314頁	2014.12 7,920
冰心研究―女性・死・結婚		虞　萍	978-4-7629-2881-3 A5判・340頁	2010.12 9,680
中国現代詩史研究		岩佐昌暲	978-4-7629-2998-4 A5判・464頁	2013.03 8,800

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
彼此往来の詩学―馮至と中国現代詩学		佐藤普美子	978-4-7629-2889-5 A5判・408頁	2011.02 8,800
紅迷　ある中国文学者の青春		大高巖追悼文集刊行会	978-4-7629-2326-5 B5判・154頁	1976,11 2,200
「她」という字の文化史 ―中国語女性代名詞の誕生	汲古選書79	黄　興濤 孫　　鹿	978-4-7629-5079-7 四六判・260頁	2021.09 3,344
左聯期資料　全5巻		飯田吉郎	 A5判・総3158頁	1978,10 品切
左聯期資料　補巻			978-4-7629-9002-1 A5判・420頁	1981,07 4,752
創造社資料　全11巻			 A5判・総6362頁	1979,05 品切
創造社研究			 A5判・288頁	1980,11 3,080
創造社資料　補巻		伊藤虎丸	 A5判・260頁	1981,09 2,904
駱駝草　付駱駝		伊藤虎丸	978-4-7629-9016-8 B5判・404頁	1982,01 6,600
中国現代文芸資料叢刊　2			978-4-7629-9017-5 A5判・340頁	1979,07 2,640
中国現代文芸資料叢刊　3			978-4-7629-9018-2 A5判・262頁	1979,07 2,200
新青年　別巻		藤田・久保田 嶋本	978-4-7629-2415-6 A5判・232頁	1977,04 2,640
宋慶齢―人間愛こそ正義―		久保田博子	978-4-7629-6565-4 A5判・360頁	2016.04 4,400
孫文の社会主義思想―中国変革の道―		安藤久美子	978-4-7629-6505-0 A5判・486頁	2013.06 11,440
近代の日本人と孫文		中山義弘	978-4-7629-6575-3 A5判・224頁	2016.09 5,280
変法派の書簡と『燕山楚水紀遊』 ―「山本憲関係資料」の世界―		山本憲関係資料研究会	978-4-7629-6589-0 A5判・568頁	2017.01 10,560
日中戦争下のモダンダンス ―交錯するプロパガンダ―		星野幸代	978-4-7629-6603-3 A5判・224頁	2018.02 5,280
重畳たるテクティックス ：日中戦争期の話劇をめぐって		楊　韜	978-4-7629-6698-9 A5判・240頁	2022.01 7,040
中国改革開放の歴史と日中学術交流	汲古選書63	川勝　守	978-4-7629-5063-6 四六判・408頁	2013,10 3,960
学問のかたちーもう一つの中国思想史		小南一郎	978-4-7629-6526-5 A5判・360頁	2014.08 7,040
中国古典学の再構築		田中正樹	978-4-7629-6676-7 A5判・232頁	2021.02 5,720
人間性とは何か ―中國思想のダイナミズム―		橋本敬司	978-4-7629-6662-0 A5判・752頁	2020.05 15,840
日中比較思想序論―「名」と「言」	汲古選書73	王　小　林	978-4-7629-5073-5 四六判・304頁	2016.04 3,784
日中比較神話学	汲古選書66	王　小　林	978-4-7629-5066-7 四六判・308頁	2014.01 3,080
古事記と東アジアの神秘思想		王　小　林	978-4-7629-6620-0 A5判・356頁	2018.12 7,920

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
春秋左氏傳杜預集解　全2巻　【完結】				
春秋左氏傳杜預集解　上		岩本憲司	978-4-7629-2662-4 B5判・780頁	2001, 08 19, 360
春秋左氏傳杜預集解　下		岩本憲司	978-4-7629-2768-3 B5判・892頁	2006. 05 22, 000
「義」から「事」へ―春秋學小史―		岩本憲司	978-4-7629-6590-6 A5判・344頁	2017. 06 6, 160
春秋学用語集	汲古選書57	岩本憲司	978-4-7629-5057-5 四六判・284頁	2011. 12 2, 640
春秋学用語集　続編	汲古選書61	岩本憲司	978-4-7629-5061-2 四六判・276頁	2013. 07 2, 640
春秋学用語集　三編	汲古選書69	岩本憲司	978-4-7629-5069-8 四六判・272頁	2014. 05 2, 640
春秋学用語集　四編	汲古選書71	岩本憲司	978-4-7629-5071-1 四六判・296頁	2015. 07 3, 080
春秋学用語集　五編	汲古選書74	岩本憲司	978-4-7629-5074-2 四六判・264頁	2016. 06 3, 080
春秋学用語集　補編	汲古選書76	岩本憲司	978-4-7629-5076-6 四六判・288頁	2018. 09 3, 080
中國古典飜譯の諸問題	汲古選書77	岩本憲司	978-4-7629-5077-3 四六判・400頁	2020. 04 3, 960
春秋穀梁傳楊士勛疏		田中麻紗巳	978-4-7629-6560-9 B5判・408頁	2015, 10 11, 440
浙江大『左伝』真偽考		浅野裕一 小沢賢二	978-4-7629-6519-7 A5判・332頁	2012. 12 9, 680
出土資料と漢字文化圏		谷中信一	978-4-7629-2893-2 A5判・410頁	2011. 03 6, 160
楚地出土資料と中国古代文化		郭店楚簡研究会	978-4-7629-2666-2 A5判・626頁	2002, 04 7, 040
中国出土資料の多角的研究		谷中信一	978-4-7629-6613-2 A5判・584頁	2018. 03 8, 800
中国古代思想管見		舘野正美	978-4-7629-9431-9 A5判・192頁	2002. 03 1, 056
中国古代思想窺見		舘野正美	978-4-7629-2842-0 A5判・294頁	2008. 07 1, 760
郭店楚簡儒教研究		池田知久	978-4-7629-2678-5 A5判・672頁	2002, 03 14, 080
郭店楚簡儒教の研究 ―儒系三篇を中心にして		李　承律	978-4-7629-2822-2 A5判・670頁	2007. 11 10, 560
古代思想史と郭店楚簡		浅野裕一	978-4-7629-2744-7 A5判・408頁	2005, 11 11, 440
竹簡が語る古代中国思想 ―上博楚簡研究―	汲古選書42	浅野裕一	978-4-7629-5042-1 四六判・288頁	2005. 04 3, 080
竹簡が語る古代中国思想(二)	汲古選書46	浅野裕一	978-4-7629-5046-9 四六判・356頁	2008. 08 3, 960
竹簡が語る古代中国思想(三)	汲古選書51	浅野裕一	978-4-7629-5051-3 四六判・430頁	2010. 04 4, 840
出土文献から見た古史と儒家経典		浅野裕一 小沢賢二	978-4-7629-2985-4 A5判・468頁	2012. 08 10, 560

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
清華簡研究		湯浅邦弘	978-4-7629-6599-9 A5判・416頁	2017.09 10,560
上博楚簡研究		湯浅邦弘	978-4-7629-2811-6 A5判・496頁	2007.05 11,440
中国新出土文献の思想史的研究		草野友子	978-4-7629-6693-4 A5判・490頁	2022.01 10,560
儒教の名句　全2巻　【完結】				
儒教の名句 ―『四書句辨』を読み解く（上）		湯浅邦弘	978-4-7629-6670-5 A5判・360頁	2020.12 6,160
儒教の名句 ―『四書句辨』を読み解く（下）		湯浅邦弘	978-4-7629-6671-2 A5判・436頁	2021,10 6,160
全譯論語集解　全2巻　【完結】				
全譯論語集解　（上）		渡邉義浩	978-4-7629-6664-4 B5判・332頁	2020.04 7,920
全譯論語集解　（下）		渡邉義浩	978-4-7629-6665-1 B5判・264頁	2020.09 7,040
『論語』の形成と古注の展開		渡邉義浩	978-4-7629-6672-9 A5判・248頁	2021.03 6,600
室町時代古鈔本『論語集解』の研究		高橋　智	978-4-7629-2844-4 A5判・358頁	2008.09 7,920
先秦思想史上の墨家		岡本光生	978-4-7629-6659-0 A5判・224頁	2020.04 6,160
秦漢儒教の研究		斎木哲郎	978-4-7629-2694-5 A5判・880頁	2004,01 16,720
後漢の儒學と『春秋』		斎木哲郎	978-4-7629-6600-2 A5判・402頁	2018.01 8,800
『老子』経典化過程の研究		谷中信一	978-4-7629-6558-6 A5判・330頁	2015.12 7,920
郭店楚簡老子の新研究		池田知久	978-4-7629-2898-7 A5判・584頁	2011.07 14,080
道家思想の新研究		池田知久	978-4-7629-2851-2 A5判・1000頁	2009.02 22,000
中国人と道教		中村璋八	978-4-7629-2622-8 A5判・336頁	1998,11 3,344
中国の道教　全2巻		蜂屋邦夫	978-4-7629-2480-4 B5判・総1060頁	1995,11 23,922
道教と中国撰述仏典		増尾伸一郎	978-4-7629-2891-8 A5判・770頁	2017.12 13,200
初期道教經典の形成		前田繁樹	978-4-7629-2691-4 A5判・530頁	2004,08 10,560
晉唐道教の展開と三教交涉		李　穌書	978-4-7629-6711-5 A5判・546頁	2022.03 11,440
赤壁と碧城―唐宋の文人と道教―		砂山　稔	978-4-7629-6580-7 A5判・514頁	2016.11 11,440
宋代の道教と民間信仰		松本浩一	978-4-7629-2769-0 A5判・470頁	2006,10 10,560
宋代道家思想史研究		山田　俊	978-4-7629-2897-0 A5判・564頁	2012.06 10,560

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
金朝道家道教の諸相		山田　俊	978-4-7629-6704-7 A5判・750頁	2022.01 12,320
宋金元道教内丹思想研究		松下道信	978-4-7629-6626-2 A5判・560頁	2019.02 11,440
金元時代の道教		蜂屋邦夫	978-4-7629-2621-1 B5判・806頁	2000,09 20,240
モンゴル時代道教文書の研究		高橋文治	978-4-7629-2973-1 A5判・504頁	2011.12 9,680
道教儀禮文書の歴史的研究		丸山　宏	978-4-7629-2733-1 A5判・720頁	2004.12 15,840
黄帝医籍研究		真柳　誠	978-4-7629-6528-9 A5判・630頁	2014.11 5,280
東アジア思想・文化の基層構造		名和敏光	978-4-7629-6630-9 B5判・304頁	2019.03 7,040
張衡の天文学思想		髙橋あやの	978-4-7629-6622-4 A5判・346頁	2018.12 8,360
中国天文学史研究		小沢賢二	978-4-7629-2872-7 A5判・370頁	2010.03 7,920
術数学研究の課題と方法		水口拓壽	978-4-7629-6709-2 A5判・256頁	2022.03 7,040
中国伝統社会における術数と思想		池田知久 水口拓壽	978-4-7629-6578-4 A5判・276頁	2016.12 7,040
五行思想と礼記月令の研究		島　邦男	978-4-7629-2214-5 A5判・358頁	2004,08 5,280
五行大義校註　増補版		中村璋八	978-4-7629-2217-6 A5判・402頁	1998,07 7,920
荘子音義の研究		黄　華　珍	978-4-7629-2630-3 A5判・448頁	1999,03 7,920
老子真解		志賀一朗	978-4-7629-2639-6 四六判・588頁	2000,02 6,600
『老子』考索	汲古選書43	澤田多喜男	978-4-7629-5043-8 四六判・440頁	2005,07 4,400
老子の人と思想	汲古選書31	楠山春樹	978-4-7629-5031-5 四六判・210頁	2002,10 2,200
河上公章句『老子道徳経』の研究		山城喜憲	978-4-7629-2760-7 A5判・976頁	2006.03 22,000
韓非子校注　全3巻　【完結】				
①　巻1～6・例言・韓子篇目考・韓非子目録		依田・長澤 米山	978-4-7629-2220-6 A5判・648頁	1980.04 7,040
②　巻7～12		依田・長澤 米山	978-4-7629-2221-3 A5判・686頁	1980.05 7,040
③　巻13～20・韓非子補逸・雑述・解題		依田・長澤 米山	978-4-7629-2222-0 A5判・718頁	1980.06 7,040
淮南子の政治思想		有馬卓也	978-4-7629-2617-4 A5判・364頁	1998,02 7,480
六朝言語思想史研究		和久　希	978-4-7629-6598-2 A5判・400頁	2017.09 7,040
王充思想の諸相		大久保隆郎	978-4-7629-2873-4 A5判・792頁	2010.01 10,560

書　　名	シリーズ名	著者･編者名	ISBN 判型･頁数	刊行年月 学会価格
古典禅研究 ―中唐より五代に至る禅宗の発展についての新研究		賈・齋藤 村田	978-4-7629-6604-0 A5判・688頁	2017. 11 7, 040
曾慥の書誌的研究		宮澤正順	978-4-7629-2665-5 A5判・542頁	2002, 03 13, 200
蘇東坡と『易』注	汲古選書64	塘　耕次	978-4-7629-5064-3 四六判・192頁	2013. 11 2, 816
朱子語類　訳注　第1期全7冊　【完結】				
朱子語類訳注　巻1～3 【理気･鬼神】		垣内景子 恩田裕正	978-4-7629-1300-6 A5判・400頁	2007. 07 品切
朱子語類訳注　巻10～11【読書法】		興膳・木津 齋藤	978-4-7629-1301-3 A5判・340頁	2009. 05 4, 400
朱子語類訳注　巻7･12･13 【小学･持守･力行】		垣内景子	978-4-7629-1302-0 A5判・330頁	2010, 10 4, 400
朱子語類訳注　巻113～116 【訓門人（一）】		垣内景子 訓門人研究会	978-4-7629-1303-7 A5判・430頁	2012. 07 4, 400
朱子語類訳注　巻125 【老氏[荘列 附]老子･荘子他】		山田　俊	978-4-7629-1304-4 A5判・280頁	2013. 01 4, 400
朱子語類訳注　巻126(上)【釈氏(上)】		野口･廣田 本多･森	978-4-7629-1305-1 A5判・324頁	2013. 07 4, 400
朱子語類訳注　巻126(下)【釈氏(下)】		野口･廣田 本多･森	978-4-7629-1306-8 A5判・314頁	2013. 07 4, 400
朱子語類　訳注　第2期全12冊　既刊9冊				
朱子語類訳注　巻14【大学(一)】		中・宇佐美・小笠・石・孫・田中	978-4-7629-1307-5 A5判・304頁	2013. 12 4, 400
朱子語類訳注　巻117～118 【訓門人(二)】		垣内景子 訓門人研究会	978-4-7629-1308-2 A5判・348頁	2014. 06 4, 400
朱子語類訳注　巻84～86 【礼（一）～（三）】		吾妻重二・井澤耕一・洲脇武志	978-4-7629-1309-9 A5判・363頁	2014. 11 4, 400
朱子語類訳注　巻15【大学(二)】		中純夫・朱子語類大学篇研究会	978-4-7629-1310-5 A5判・338頁	2015. 07 4, 400
朱子語類訳注　巻87～88 【礼（四）～（五）】		吾妻・秋岡・白井・橋本・藤井	978-4-7629-1311-2 A5判・356頁	2015. 07 4, 400
朱子語類訳注　巻98～100 【張子之書･邵子之書】		緒方賢一 白井　順	978-4-7629-1312-9 A5判・332頁	2016. 12 4, 400
朱子語類訳注　巻119～121 【訓門人(三)】		垣内景子 訓門人研究会	978-4-7629-1313-6 A5判・466頁	2017. 07 4, 400
朱子語類訳注　巻16（上） 【大学(三)上】		中純夫・朱子語類大学篇研究会	978-4-7629-1314-3 A5判・360頁	2018. 04 4, 400
朱子語類訳注　巻16（下） 【大学(三)下･四】		中純夫・朱子語類大学篇研究会	978-4-7629-1315-0 A5判・472頁	2020. 06 4, 400
朱子語類外任篇	汲古選書14	田中謙二	978-4-7629-5014-8 四六判・220頁	1994, 08 1, 965
朱熹『小学』研究		松野敏之	978-4-7629-6694-1 A5判・346頁	2021. 09 7, 920
朱子絶句全訳注　（既刊5冊）　取扱図書				
朱子絶句全訳注　2		宋元文学研究会	978-4-7629-9441-8 B6判・422頁	1994. 12 3, 364

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
朱子絶句全訳注　3		宋元文学研究会	978-4-7629-9700-6 B6判・400頁	1998.05 3,465
朱子絶句全訳注　4		宋元文学研究会	978-4-7629-9701-3 B6判・446頁	2008.07 3,465
朱子絶句全訳注　5		日本漢詩文学会	978-4-7629-9702-0 B6判・338頁	2015.12 3,465
朱子家礼と東アジアの文化交渉		吾妻重二 朴　元在	978-4-7629-2978-6 A5判・502頁	2012.03 11,440
東アジアの王権と秩序 ―思想・宗教・儀礼を中心として		伊東貴之	978-4-7629-6696-5 A5判・948頁	2021,10 17,600
「心身／身心」と環境の哲学		伊東貴之	978-4-7629-6568-5 A5判・818頁	2016.03 17,600
程伊川の孟子の受容と衍義		近藤正則	978-4-7629-2490-3 A5判・240頁	1996,03 3,417
宋代書籍聚散考		會谷佳光	978-4-7629-2728-7 A5判・578頁	2004,08 6,160
中峰明本『山房夜話』訳注		野口善敬 松原信樹	978-4-7629-6549-4 A5判・378頁	2015.04 7,040
石城遺宝　訳注		野口善敬 廣田宗玄	978-4-7629-9566-8 A5判・480頁	2017.04 7,920
『夢占逸旨』の研究―中国の「夢」の思想		清水洋子	978-4-7629-6623-1 A5判・430頁	2019.01 9,680
王守仁著作の文献学的研究		永冨青地	978-4-7629-2809-3 A5判・760頁	2007.02 9,680
心即理―王陽明前期思想の研究		大場一央	978-4-7629-6596-8 A5判・260頁	2017.09 5,104
朝鮮の陽明学―初期江華学派の研究―		中　純夫	978-4-7629-2994-6 A5判・700頁	2012.12 13,200
劉智の自然学		佐藤　実	978-4-7629-2835-2 A5判・394頁	2008.02 7,920
明清はいかなる時代であったか		奥崎裕司	978-4-7629-2777-5 A5判・450頁	2006,10 7,920
宗教としての儒教		奥崎裕司 石　漢椿	978-4-7629-2887-1 A5判・300頁	2011.01 6,160
王船山易学述義　全2巻　【完結】				
王船山易学述義　1		高田　淳	978-4-7629-2651-8 A5判・702頁	2000.03 7,040
王船山易学述義　2		高田　淳	978-4-7629-2652-5 A5判・760頁	2000.03 7,040
近代中国思想史論		有田和夫	978-4-7629-2623-5 A5判・430頁	1998,10 7,040
清末思想研究 ―東西文明が交錯する思想空間		川尻文彦	978-4-7629-6697-2 A5判・500頁	2022.01 10,560
清末中国の西洋体験と文明観		手代木有児	978-4-7629-2997-7 A5判・328頁	2013.01 6,160
康有為と近代大同思想の研究		竹内弘行	978-4-7629-2828-4 A5判・610頁	2008.01 11,440
近代中国儒学思想史		劉・安藤・小池・斎藤・竹中	978-4-7629-2816-1 四六判・246頁	2007.07 1,760

書　　名	シリーズ名	著者･編者名	ISBN 判型･頁数	刊行年月 学会価格
頼　惟勤著作集　全3巻　【完結】				
①　中国音韻論集		頼　惟勤	978-4-7629-1126-2 A5判・512頁	1989, 03 品切
②　中国古典論集		頼　惟勤	978-4-7629-1127-9 A5判・568頁	1989, 09 10, 252
③　日本漢学論集		頼　惟勤	978-4-7629-1139-2 A5判・630頁	2003, 07 14, 080
藤堂明保中国語学論集		藤堂明保	978-4-7629-2343-2 A5判・440頁	1993, 12 9, 398
平山久雄　中古音講義		平山久雄	978-4-7629-6715-3 A5判・232頁	2022. 08 4, 400
中国言語学史　増訂版		大島正二	978-4-7629-2605-1 A5判・460頁	1998, 09 8, 800
中国語音韻研究文献目録		頼　惟勤 説文会	978-4-7629-2342-5 A5判・190頁	1993, 05 4, 272
『類篇』研究		水谷　誠	978-4-7629-6661-3 A5判・256頁	2020. 07 5, 280
中国語文論集　語学･元雑劇篇	汲古選書10	太田辰夫	978-4-7629-5010-0 四六判・450頁	1995, 05 4, 272
中国語文論集　文学篇	汲古選書11	太田辰夫	978-4-7629-5011-7 四六判・350頁	1995, 05 2, 990
元版　孝経直解		太田辰夫 佐藤晴彦	978-4-7629-2493-4 B5判・112頁	1996, 06 5, 280
元代音研究―『脈訣』ペルシャ語訳による		遠藤光暁	978-4-7629-6564-7 B5判・616頁	2016. 03 17, 600
『海上花列伝』語彙例釈		宮田一郎	978-4-7629-3631-9 A5判・1298頁	2016. 03 17, 600
古今韻会挙要研究		花登正宏	978-4-7629-2615-0 B5判・440頁	1997, 11 9, 680
明清俗語辞書集成　全5巻･別巻1　【完結】				
①　俚言解･世事通考･土風録･直語補証ほか		長澤規矩也	978-4-7629-2291-6 B5判・604頁	2005. 03 7, 920
②　称謂録･通俗常語疏証		長澤規矩也	978-4-7629-2292-3 B5判・540頁	2005. 03 7, 920
③　談徴･正音撮要･里語徴実･官話彙解便覧他		長澤規矩也	978-4-7629-2293-0 B5判・550頁	2005. 03 7, 920
④　雅俗稽言		長澤規矩也	978-4-7629-2294-7 B5判・412頁	2005. 03 7, 040
⑤　目前集･常語考誤･常語尋言･証俗文		長澤規矩也	978-4-7629-2295-4 B5判・390頁	2005. 03 7, 040
別　総索引		佐藤・地蔵堂 大石･渡辺	978-4-7629-2296-1 B5判・604頁	2005. 02 12, 320
傷寒論文字攷		伊藤鳳仙 湯浅幸孫	978-4-7629-2340-1 A5判・414頁	1987, 06 5, 280
十一種詩詞曲詞典綜合索引		土肥克己	978-4-7629-1215-3 A5判・230頁	2007. 02 3, 080
宋本　廣韻全譯　（既刊12冊）　取扱図書				

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
①（通攝・江攝）		坂井健一	978-4-7629-9526-2 B5判・196頁	1998, 10 2, 475
②（止攝）		坂井健一	978-4-7629-9527-9 B5判・274頁	1999, 10 3, 168
③（遇攝）		坂井健一	978-4-7629-9528-6 B5判・210頁	2000, 05 2, 475
④（蟹攝）		坂井健一	978-4-7629-9529-3 B5判・262頁	2001, 03 3, 168
⑤（果攝・假攝）		坂井健一	978-4-7629-9530-9 B5判・136頁	2002, 01 1, 980
⑥（愛攝）		坂井健一	978-4-7629-9531-6 B5判・184頁	2002, 01 2, 475
⑦（臻攝）		坂井健一	978-4-7629-9532-3 B5判・180頁	2002, 11 2, 475
⑧（流攝）		坂井健一	978-4-7629-9533-0 B5判・110頁	2003, 06 1, 980
⑨（山攝）		坂井健一	978-4-7629-9534-7 B5判・350頁	2005, 02 5, 445
⑩（効攝）		坂井健一	978-4-7629-9535-4 B5判・208頁	2005, 08 2, 475
⑪（梗攝・曾攝）		坂井健一	978-4-7629-9536-1 B5判・320頁	2006. 11 4, 950
⑫（深攝・咸攝）		坂井健一	978-4-7629-9537-8 B5判・300頁	2008, 10 4, 950
和刻本六臣注　文選		原田種成 内山知也	978-4-7629-2412-5 A5判・116頁	1993, 02 854
文語解		釈　大典	978-4-7629-2414-9 B5判・100頁	1993, 03 1, 320
孝子伝研究　全2巻　　【完結】				
孝子伝注解		幼学の会	978-4-7629-3446-9 A5判・568頁	2006, 10 12, 320
孝子伝図の研究		黒田　彰	978-4-7629-3563-3 A5判・890頁	2007. 11 18, 480
太公家教注解		幼学の会	978-4-7629-3570-1 A5判・552頁	2009. 03 13, 200
三宝絵本生譚の原型と展開		中村　史	978-4-7629-3565-7 A5判・248頁	2008. 02 5, 280
能楽と崑曲		赤松紀彦・小松謙・山崎福之	978-4-7629-3571-8 A5判・110頁	2009. 03 2, 200
五山文学の研究		兪 慰 慈	978-4-7629-3458-2 A5判・620頁	2004. 03 11, 440
日中民間説話の比較研究		立石展大	978-4-7629-3609-8 A5判・394頁	2013. 03 8, 800
日中怪異譚研究		増子和男	978-4-7629-3649-4 A5判・444頁	2020. 08 8, 360
三国志享受史論考		田中尚子	978-4-7629-3549-7 A5判・368頁	2007. 01 8, 360
日本における〈呉越説話〉の展開		程　国興	978-4-7629-3675-3 A5判・408頁	2022. 05 8, 800

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
江戸文人と明清楽		中尾友香梨	978-4-7629-3576-3 A5判・406頁	2010.02 8,800
近世近代小説と中国白話文学		徳田　武	978-4-7629-3520-6 A5判・400頁	2004,10 10,560
日本近世白話小説受容の研究		中村　綾	978-4-7629-3586-2 A5判・280頁	2011,10 7,040
日本近世における白話小説の受容 曲亭馬琴と『水滸傳』		孫　琳　浄	978-4-7629-3657-9 A5判・290頁	2021.03 7,040
清原宣賢漢籍抄翻印叢刊　第一期全十巻（既刊1冊）				
1　大学聴塵		大島　晃	978-4-7629-1402-7 B5判・総464頁	2004,10 17,600
懐徳堂研究（既刊2冊）				
懐徳堂研究		湯浅邦弘	978-4-7629-2827-7 A5判・448頁	2007.11 11,440
懐徳堂研究　第二集		竹田健二	978-4-7629-3642-5 A5判・460頁	2018.11 8,800
日本漢文学の射程 ―その方法、達成と可能性		王　小林 町　泉寿郎	978-4-7629-3643-2 A5判・364頁	2019.07 7,480
日本漢学研究試論－林羅山の儒学		大島　晃	978-4-7629-3636-4 A5判・648頁	2017.12 10,560
清代における日本漢文學の受容		蔡　毅	978-4-7629-6712-2 A5判・698頁	2022.03 9,680
新井白石『陶情詩集』の研究		紫陽会	978-4-7629-2977-9 A5判・840頁	2012.02 17,600
大沼枕山『歴代詠史百律』の研究		詹　満江	978-4-7629-3647-0 A5判・840頁	2020.02 17,600
江馬細香『湘夢遺稿』 1	汲古選書5	門　玲子	978-4-7629-5005-6 四六判・246頁	1992.12 2,136
江馬細香『湘夢遺稿』 2	汲古選書6	門　玲子	978-4-7629-5006-3 四六判・340頁	1992.12 2,990
湘夢詩草－山陽先生批点		小林徹行	978-4-7629-3406-3 菊判・400頁	1997.08 7,920
東林語録 訳注		野口善敬・東林語録研究会	978-4-7629-9561-3 A5判・674頁	2014.11 7,040
鐵研齋詩存（斎藤拙堂全詩集）		齋藤拙堂 呉　鴻春	978-4-7629-9542-2 A5判・360頁	2001,10 3,960
江戸後期月瀬観梅漢詩文の研究		村田栄三郎	978-4-7629-3447-6 A5判・460頁	2002.11 11,440
牧野黙庵松村遺稿		牧野暢男	978-4-7629-9720-4 A5判・416頁	1998.09 6,160
『葛子琴詩抄』・『葛子琴詩』索引		西岡市祐	978-4-7629-1177-4 B5判・374頁	2005.09 4,400
森春濤の基礎的研究		日野俊彦	978-4-7629-6504-3 A5判・390頁	2013.02 8,800
幕末漢詩人杉浦誠『梅潭詩鈔』の研究		市川桃子	978-4-7629-3617-3 A5判・640頁	2015.02 11,440
吉益東洞「古書医言」の研究		舘野正美	978-4-7629-3457-5 A5判・346頁	2003.12 10,560

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
江戸期の道教崇拝者たち	汲古選書72	坂出祥伸	978-4-7629-5072-8 四六判・384頁	2015, 10 3, 960
江戸時代後期の水戸藩儒		井坂清信	978-4-7629-4211-2 A5判・636頁	2013, 10 10, 560
明治の碩学	汲古選書34	三浦　叶	978-4-7629-5034-6 四六判・372頁	2003, 06 3, 784
岸田吟香－資料から見たその一生	汲古選書19	杉浦　正	978-4-7629-5019-3 四六判・440頁	1996, 07 4, 224
小中村清矩日記		大沼宜規	978-4-7629-4206-8 A5判・756頁	2010. 07 17, 600
古典研究会叢書漢籍之部全42巻　【完結】				
1　毛詩鄭箋　1		米山寅太郎 築島　裕	978-4-7629-1085-2 B5判・492頁	1992. 11 11, 106
2　毛詩鄭箋　2		米山寅太郎 築島　裕	978-4-7629-1086-9 B5判・394頁	1993. 01 11, 106
3　毛詩鄭箋　3		米山寅太郎 築島　裕	978-4-7629-1087-6 B5判・460頁	1994. 09 11, 106
4　論語集解　1		石塚・小助川 高橋	978-4-7629-1088-0 B5判・644頁	2017. 03 13, 200
5　論語集解　2		石塚・小助川 小林	978-4-7629-1089-0 B5判・228頁	2015. 12 7, 040
6　呉書		米山寅太郎	978-4-7629-1090-6 B5判・608頁	1988. 11 品切
7　五行大義　1		中村・築島 石塚	978-4-7629-1091-3 B5判・550頁	1989. 12 12, 320
8　五行大義　2		中村・築島 石塚	978-4-7629-1092-0 B5判・602頁	1990. 07 12, 320
9　群書治要　1		尾崎　康 小林芳規	978-4-7629-1093-7 B5判・684頁	1989. 02 品切
10　群書治要　2		尾崎　康 小林芳規	978-4-7629-1094-4 B5判・548頁	1989. 04 11, 440
11　群書治要　3		尾崎　康 小林芳規	978-4-7629-1095-1 B5判・470頁	1989. 05 11, 440
12　群書治要　4		尾崎　康 小林芳規	978-4-7629-1096-8 B5判・500頁	1989. 06 11, 440
13　群書治要　5		尾崎　康 小林芳規	978-4-7629-1097-5 B5判・546頁	1989. 08 11, 440
14　群書治要　6		尾崎　康 小林芳規	978-4-7629-1098-2 B5判・508頁	1989, 10 11, 440
15　群書治要　7		尾崎　康 小林芳規	978-4-7629-1099-9 B5判・522頁	1991. 08 11, 440
16　東坡集		竺沙雅章	978-4-7629-1100-2 B5判・442頁	1991, 09 品切
17　史記　1		水澤・尾崎 小澤	978-4-7629-1150-7 B5判・478頁	1996. 06 14, 080
18　史記　2		水澤・尾崎 小澤	978-4-7629-1151-4 B5判・482頁	1996. 08 14, 080
19　史記　3		水澤・尾崎 小澤	978-4-7629-1152-1 B5判・396頁	1996, 10 14, 080

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
20　史記　4		水澤・尾崎 小澤	978-4-7629-1153-8 B5判・384頁	1996.12 14,080
21　史記　5		水澤・尾崎 小澤	978-4-7629-1154-5 B5判・478頁	1997.02 14,080
22　史記　6		水澤・尾崎 小澤	978-4-7629-1155-2 B5判・564頁	1997.04 14,080
23　史記　7		水澤・尾崎 小澤	978-4-7629-1156-9 B5判・628頁	1997.06 14,080
24　史記　8		水澤・尾崎 小澤	978-4-7629-1157-6 B5判・524頁	1997.08 14,080
25　史記　9		水澤・尾崎 小澤	978-4-7629-1158-3 B5判・512頁	1997.09 14,080
26　史記　10		水澤・尾崎 小澤	978-4-7629-1159-0 B5判・432頁	1997.12 14,080
27　史記　11		水澤・尾崎 小澤	978-4-7629-1160-6 B5判・484頁	1998.02 14,080
28　史記　12		水澤・尾崎 小澤	978-4-7629-1161-3 B5判・522頁	1998.04 14,080
29　後漢書　1		尾崎　康	978-4-7629-1162-0 B5判・444頁	1999.07 14,080
30　後漢書　2		尾崎　康	978-4-7629-1163-7 B5判・498頁	1999.09 14,080
31　後漢書　3		尾崎　康	978-4-7629-1164-4 B5判・424頁	2000.02 14,080
32　王右丞文集		米山寅太郎	978-4-7629-1190-9 B5判・378頁	2005.09 11,440
33　分類補註李太白詩　1		芳村弘道	978-4-7629-1191-0 B5判・374頁	2005.07 11,440
34　分類補註李太白詩　2		芳村弘道	978-4-7629-1192-7 B5判・442頁	2005.09 11,440
35　分類補註李太白詩　3		芳村弘道	978-4-7629-1193-4 B5判・416頁	2006.07 11,440
36　李太白文集　1		米山寅太郎 高橋　智	978-4-7629-1194-1 B5判・440頁	2006.02 11,440
37　李太白文集　2		米山寅太郎 高橋　智	978-4-7629-1195-8 B5判・390頁	2006,10 11,440
38　昌黎先生集		佐藤　保	978-4-7629-1196-5 B5判・304頁	2019.05 10,560
39　韓集挙正		佐藤　保	978-4-7629-1197-2 B5判・434頁	2002,10 11,440
40　白氏六帖事類集　1		神鷹徳治 山口謡司	978-4-7629-1198-9 B5判・376頁	2008.03 11,440
41　白氏六帖事類集　2		神鷹徳治 山口謡司	978-4-7629-1199-6 B5判・376頁	2008.05 11,440
42　白氏六帖事類集　3		神鷹徳治 山口謡司	978-4-7629-1200-9 B5判・410頁	2012.03 11,440
王元化著作集　全3巻　【完結】				
Ⅰ　文心雕龍講疏		王　元化 岡村　繁	978-4-7629-2756-0 A5判・454頁	2005.05 10,560

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
Ⅱ　思辨随筆		王　元化 岡村　繁	978-4-7629-2757-5 A5判・484頁	2008.03 10,560
Ⅲ　九十年代の反思録		王　元化 岡村　繁	978-4-7629-2758-4 A5判・468頁	2010.03 10,560
東アジア海域叢書　全20巻（既刊14冊）				
1　近世の海域世界と地方統治		山本英史	978-4-7629-2941-0 A5判・448頁	2010,10 6,160
2　海域交流と政治権力の対応		井上　徹	978-4-7629-2942-7 A5判・430頁	2011.02 6,160
3　小説・芸能から見た海域交流		勝山　稔	978-4-7629-2943-4 A5判・360頁	2010.12 6,160
4　海域世界の環境と文化		吉尾　寛	978-4-7629-2944-1 A5判・338頁	2011.03 6,160
5　江戸儒学の中庸注釈		市来津由彦ほか	978-4-7629-2945-8 A5判・380頁	2012.02 6,160
6　碑と地方志のアーカイブズを探る		須江　隆	978-4-7629-2946-5 A5判・470頁	2012.03 6,160
7　外交史料から十～十四世紀を探る		平田茂樹 遠藤隆俊	978-4-7629-2947-2 A5判・414頁	2013.12 6,160
9　寧波の水利と人びとの生活		松田吉郎	978-4-7629-2949-6 A5判・340頁	2016,10 6,160
10　寧波と宋風石造文化		山川　均	978-4-7629-2950-2 A5判・380頁	2012.05 6,160
11　寧波と博多		伊藤幸司 中島楽章	978-4-7629-2951-9 A5判・450頁	2013.03 6,160
13　蒼海に交わされる詩文		堀川貴司 浅見洋二	978-4-7629-2953-3 A5判・370頁	2012,10 6,160
14　中近世の朝鮮半島と海域交流		森平雅彦	978-4-7629-2954-0 A5判・450頁	2013.05 6,160
15　中世日本の王権と禅・宋学		小島　毅	978-4-7629-2955-7 A5判・368頁	2018.03 6,160
16　平泉文化の国際性と地域性		藪　敏裕	978-4-7629-2956-4 A5判・336頁	2013.06 6,160
古典研究会創立二十五周年記念国書漢籍論集		古典研究会	978-4-7629-1131-6 A5判・664頁	1991,08 12,815
菊を採る東籬の下 石川忠久先生星寿記念論文集		石川先生星寿記念論文集刊行会	978-4-7629-6695-8 A5判・716頁	2021.11 14,960
古田敬一教授頌寿記念中国学論集		姫路独協大学内同編集委員会	978-4-7629-2610-5 A5判・860頁	1997,03 19,360
沼尻博士退休記念中国学論集		日本大学中国文学研究室	 A5判・530頁	1990,11 15,379
中国文人の思考と表現		村上哲見先生古稀記念論文集刊行会	978-4-7629-2648-8 A5判・598頁	2000,07 13,200
吉田富夫先生退休記念中国学論集		吉田先生退休記念論集委員会	978-4-7629-2832-1 A5判・552頁	2008.02 13,200
村山吉廣教授古稀記念中国古典学論集		村山教授古稀記念論集刊行会	978-4-7629-2649-5 A5判・1124頁	2000,04 24,640
田中謙二博士頌寿記念中国古典戯曲論集		田中博士頌寿記念編集委員会	978-4-7629-2425-5 A5判・310頁	1991,04 5,126

書　　名	シリーズ名	著者・編者名	ISBN 判型・頁数	刊行年月 学会価格
内野熊一郎博士白寿記念東洋学論文集		内野熊一郎	978-4-7629-9539-2 A5判・284頁	2000.06 4,400
中村璋八博士古稀記念東洋学論集		中村博士古稀記念編集委員会	978-4-7629-2488-0 A5判・1300頁	1995,12 21,359
栗原圭介博士頌寿記念東洋学論集		栗原博士頌寿記念論集事業会	978-4-7629-2478-1 A5判・802頁	1995,03 15,379
竹田晃先生退官記念東ｱｼﾞｱ文化論叢		竹田晃先生退官記念編集委員会	978-4-7629-2429-3 A5判・590頁	1991,06 12,815
朱子学とその展開 ―土田健次郎教授退職記念論集―		土田教授退職記念論集刊行会	978-4-7629-6640-8 A5判・420頁	2020.01 10,560
中国における形と心		大東文化大学	978-4-7629-2697-6 A5判・238頁	2004,03 7,040
川勝守・賢亮博士古稀記念東方学論集		川勝博士記念論集刊行会	978-4-7629-6511-1 A5判・1096頁	2013,10 19,360